No.45
鳥取中央育英
同窓会報
創立110周年記念
特別号

今号は記念特別号である。通常号より大きいB4判・24ページである。この広い紙面を使って、同窓生の母校に寄せる感謝や発展を願う熱い想いを可能な限り詰め込んだ。また、記念事業の成功を願って、同窓生や地域の企業から温かい気持ちを多く受けた。紙面で紹介し、お礼に代えさせて頂いた。同窓会はこれからも「克己」の教えを胸に刻み、しっかりと歩み続けたい。

◀育英校舎（画　南場　兄一　S40）

「晩登」・克己。今つなぐ.110年

（取材：山田　満穂　S58　県民局監査）

本校創設者豊田太蔵先生。明治維新以後、山陰が文明開化に取り残されたことを深く憂い、地方の発展のためには人材育成として私財を投げ打ち山陰初の中学校を創立された。

地方創生を自ら担う気概と、人づくりへの情熱。そうした豊田先生の生涯が、創立110周年を迎える今年、松本薫先生により小説化され、広く世間の皆さんに知っていただくことになったことを心から喜んでおります。

「克己」精神は、挑戦の精神

学校長　森脇　直紀

「克己」を建学の精神とし有為な人材を育成するという本校の使命は、育英塾の創立以来2万5千人という有為な卒業生の輩出により営々と実現されてきたのでした。

これからも、本校の伝統を引き継いでいくとともに、本校の使命を全うするために、更なる発展に向って革新にも取り組んでいく、そうした「挑戦」の精神もまた「克己」の精神であると位置づけて、学校挙げて取組んでいきたいと思います。

巻頭言

太蔵さんの声が聞こえる

同窓会長　佐伯　徳二（S46）

創立110周年の募金活動に歩いていた時、会社経営の先輩が「在学中に先生から聞いたことがある。これで私は立ち直った」と話された。

母校を創設した豊田太蔵氏が、当時の生徒に「タバコを吸うなとは言わん。偉くなれ。偉くなったらマニラの葉巻でも、外国製高級品でも堂々と吸える」と教えた。

この型破りのエピソードは、このたび発刊された『小説ばんとう（晩登）』でも登場するが、先輩は高校時代に伝え聞き、人生観が変わるほどの感銘を受けた、というのである。

私は高校時代に聞かされたことがなく、正直、先輩がうらやましかった。

同時に、創設者の気高い精神が、世に言う「育英魂」として先生から生徒へ、先輩から後輩へと語り継がれ、同窓生の心の中に脈々と生き続けていることを実感し、感慨深かった。

「豊田太蔵ゆかりの地ウオーク」が計画されているが、参加して各地をめぐると、創設者の声が聞こえるかもしれない。

楽しみなことだ。

目次
1～3P　110周年記念事業
4～5P　写真で見る育英
7P　校歌・園歌
8～11P　巻頭・支部の紹介・記念事業報告・寄贈一覧
12P　文芸・作品展
13P　学年のページ（S55・1年・3年）
14～16P　10年間の歩み
19～17P　アンケート特集
19～21　創立110メッセージ
22P　10周年事業・記念育英会・同窓生の声
23P　資料編
24P　予算・決算書

克己

他に勝たんと欲する者は、まずよく先ず克己の勇気を奮起すべし。己に克つことを得ざる者は、実行の能は、実くんぞ能く他に勝つことを望んや。故くも本校に修学する者は、第一に、克己の気を養成することを要す。

明治三十五年秋日

八十二翁　豊田太蔵

（創立者　豊田太蔵先生の遺訓による）

いくえいを歩く

JR由良駅

列車通学生は毎日、由良駅で乗降し、登下校している。正門は導入。そうした生徒にとって由良駅は、もう一つの校門と言える。

由良駅は、山陰本線が御来屋駅から倉吉まで延伸されたのに伴い、1903年開業した。

07年創立の母校より古く、全ての列車通学生を見守ってきた。

駅から校舎までは約500㍍。現在の北栄町役場にあった当時は約3000㍍の距離。ぎりぎりまで遅刻し、駅舎に到着しつつある列車を見ながら駆け込む時は、果てしなく遠く感じた。

4年前に「ゴチン駅」の愛称が付けられ、駅のあちこちに「名探偵ゴチン」の絵柄が飾られている。（菅）

同窓生8名が「ばんとう」発送作業

9月19日午前9時から、発送作業。8名の同窓生は、母校で約900冊を袋詰めしました。

「休憩時は、高校の思い出話や友人・自分の近況情報等に心が和むひとときとなりました」

会員にお届け作業中

鳥取中央育英高校創立110周年。おめでとうございます。

有限会社　高尾材木店
代表取締役会長　高尾　敏雄
〒689-2541　東伯郡琴浦町八橋708　TEL0858－55－0610

発行　鳥取中央育英同窓会編集委員会　TEL（0858）37－3211　FAX37－3212　印刷　㈱矢萩印刷

様々な記念事業で祝う

その2

同窓生美術展を開催

同窓生の作品展は、今年で第3回を迎えます。今回は記念事業として位置付けられ、その名も「同窓生美術展」と改められ、1年前から会合を重ねて来ました。

開催期間　11月9日（木）～18日（土）

会　場　校内の「豊田記念館」

出品作品　県内外の約50人が約100点

県展や市展、全国公募展などで入賞作品が多く、高いレベルは、これまで2回の作品展で実証済みです。

会期中には記念式典・豊田家ゆかりの地ウオークも開催され、多くの来場者が見込まれます。青英の精神や心を在校生や本県生、地域の方々に知ってもらう良い機会にしたいと思っています。

（担当　町田博子）

レベルの高い作品がずらり（昨年の会場風景）

その1

小説「ばんとう」を発刊

豊田太蔵先生の生涯を描いた小説『ばんとう（晩登）』が発刊された。作家松本薫さんと挿絵担当の森井裕子さん（S56卒）に、今のお気持ちを綴っていただいた。

「ばんとう（晩登）」を書いて

作家　松本　薫

同窓会長である佐伯健二さんからお話があったのが一昨年の秋。思いに思ってお受けし、強豪にとりかかってから一年半ケ月、こうして形になったことに深い喜びを感じています。

思った以上に立派な本にしていただき、これも同窓会の皆様のご支援があったればこそと、感謝の気持ちでいっぱいです。

思った理由は、私が同窓生でないこともありますが、豊田太蔵という人物を理解できるかどうか不安だったからでした。

けれども、記念誌や回想録、残された資料などを読むうちに、（野武士）のような太蔵のイメージが湧き上がってきました。まっすぐで骨太、少し不器用だけどやさしくて熱い男…かっこいいです。同時代に生きていたら惚れてしまいそうです。

とはいえ、青英中学設立に至るまでの太蔵の人生は、苦難の連続でした。周囲の無理解、仲間の離反、資金難、孤立、喧嘩……投げ出したいと思ったことは何度もあったでしょう。

それでも諦めなかったのは、人を育てることが山陰地方の発展につながるという強い気持ちがあったからです。

加えて生徒たちが大好きでした。若者に希望を与え、未来を切りひらいてほしいという思いが、三十年かけての中学設立を成し遂げさせたのです。

校前の「高巳」、稽古の「晩登」は、太蔵の人生そのものだと思います。

青英への思いを 神絵にこめて

鳥取ペン画家　森井裕子　S56

挿絵を担当するという唯一無二の機会をいただき、青英の同窓生として大変光栄に感じ、関係者をはじめ全ての方に感謝の気持ちでいっぱいです。

制作にあたっては、同窓会長さんや学校関係者の方と会議をしたり、倉吉・清谷などの物語の現場に案内してもらい、制作がスムーズにいくよう協力していただきました。

制作途中で松本薫さんのご意見をいただき、一緒に作りあげた本であったと思っています。

懐かしい校歌吹奏楽部、部活で走った「お自場」までの道など、高校時代を思い出しながら制作した幸福な時間は生涯忘れないでしょう。

この本が、同窓生・在校生のみならず未来の青英高生に読み継がれ、山陰の人に勇気を与え、愛される本になることを、心から願っています。

左＝森井・右＝松本さん

「ばんとう」を読む

倉本　紀代　S34

東京の「晩登亭」で長くお世話になりましたが、改めて豊田先生の情熱と苦労を詳しく知ることが出来ました。巻末の青英会名簿には、歴代知事や田村虎蔵（「大こくさま」作曲者）の名前もありました。

第2次高校再編が迫っています。血のにじむような先人の苦労と業績を無にするようなことがあってはなりません。本校関係者以外の、とりわけ県の教育行政関係者にもぜひ読んで欲しいと強く願いました。

その3

Paix2（ペペ）がライブ

「ペペ」は、フランス語で「平和」を意味する言葉。２人は1989年「日本能率協会技能振興鳥取県大会」で出会い、2000年デュオ結成。♪風のように　雲のように♪でメジャーデビュー。

ライブのかたわら、受刑者慰問コンサートを重ね、今年２月で400回を超えた。その人気は受刑者の間では、ＡＫＢ48を超えるとも。“慰問コンサート”と言わないで、「Prisonコンサート」という。「受刑者がいるということは、その対極に被害者がいるということです。被害者の思いをかみしめてもらいたいという意味もあって…」と、井勝さんはコメントしている。

代表曲：元気だせよ・SAYいっぱいをありがとう・いのちの理由・ともいき…未来へ歩

14年　法務大臣より保護司に任命される。

15年　結成15周年記念アルバム（し・あ・わ・せ）を発売。

17年　作田明財団より「社会貢献優秀賞」

左が北尾真知美さん　右の井勝めぐみさんは由良育英Ｈ５卒

参考と引用：Paix2記念ライブのパンフ紹介文（事務所提供）およびGoogleから。（文責　戸田）

記念式典で、「ペペ」の井勝さんと久しぶりに会うことができる！そう思って卒業アルバムを開いてみたら、高校時代からとても美顔がすてきだった井勝さんが、載っていました。

青英祭では、バンドを結成してボーカル担当。レベッカの曲を上手に歌っていたのを思い出します。

記念式典でも井勝さんの歌声が、その時以上に感動と勇気を与えてくれるにちがいないと楽しみでいっぱいです。連絡を取れたら、「何でも自由にと。」うれしかったです。

青英会副会長　北尾　和美　Ｈ8

今回、地域の多くの企業から「創立110周年記念」事業にご協力いただきました。感謝申し上げます。今号の各ページの最下段に広告の意味を込め掲載致します。（同窓会事務局）

鳥取中央青英高校創立110周年。おめでとうございます。

有限会社　大下造園

代表取締役　大　下　哲　夫

〒682-0944　倉吉市福光441

TEL0858-28-4097

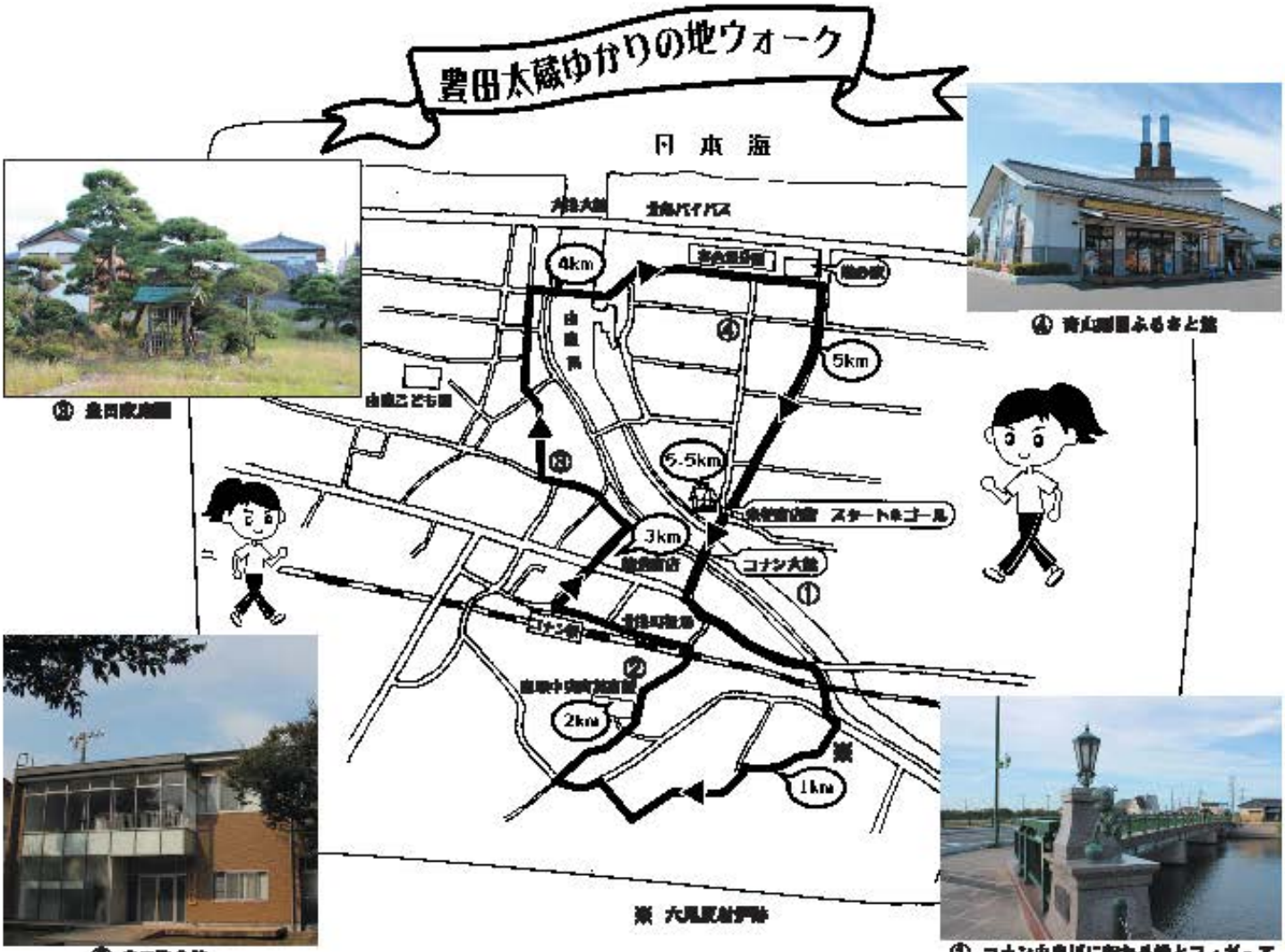
緑が丘１１０年

記念ウォーク

その４

由良宿まちめぐり

「豊田太蔵」先生ゆかり場所とＯＢ
"青山剛昌ワールド"を巡ります。



その５　チャリティーも兼ねた、記念ゴルフコンペ

39名の"熱い戦い"

記念行事の第１弾として、ゴルフコンペを６月24日（土）、「米子ゴルフ場」で開きました。参加者は39名。和気藹々のムードの中での"激戦"を制したのは小山信貴君（Ｈ２）でした。

なお、チャリティとして九州豪雨義援金に１万円・母校の生徒会に４万円寄附しました。（担当　伊藤 満）

記念ウォークの案内

と　き　１１月１日（土）雨天決行
　　※予備日11月19日
集合場所　コナンの家　米花商店街
受　付　１３：３０～
　　１４：００スタート
参加費　８００円　定員３００人
申込み受付　１１／１０まで
問い合わせ　鳥取中央育英高同窓会
　TEL 0858-37-3211 Fax 37-3212

その６

- □ 記念講演「豊田太蔵が残したもの」
  作家 松本薫氏
- □ 記念切手シート発行
- □「創立１１０周年記念誌」刊行
- □「同窓会報」No.45 特別記念
  （Ｂ４判 24P）発行

創立110周年おめでとうございます。更なる発展を祈念します。

石田紙器株式会社
代表取締役社長　石　田　知　己
〒682-0018 倉吉市福庭町1-433
TEL0858－26－0511

株式会社 サンセキ
代表取締役　熊　野　俊　也
〒689-2202 東伯郡北栄町東園323-1

写真で見る・春夏秋冬

ケヤキ並木。桜の木が土手に。四季の変化が見事な緑ケ丘。その様々な顔を写真で見る。

夏の野球。県大会応援風景

陸上部の夏合宿。多くの他校からも。（8月）

旧校舎玄関前の桜（現北栄町役場前）

夏

育英祭（7月）

春

入学式風景（4月）

秋

大運動会（台場公園で）

スキー学校（1月）

冬

センター試験。「がんばれ！」
激励する先生と。（写真＝鳥大会場前で）

春夏秋冬

自転車通学で通り過ぎた、真夏の夜の田園道。それは、部活の帰り道の記憶。

いつもよりかなり遅かった。部活の達成感と、普段は目にすることの無い月明かりに照らされる田園の美しさが相まって、私の記憶に強く刻まれていたらしい。

春。私には花粉症の辛い季節。しかも部活での苦労がいっぱい重なって、何かと憂鬱な季節でもあった。けれど、学校近くの桜が見事に咲き、その近くを通る時の、花々の美しさを目にする事が嬉しかった。

秋。アキアカネの群れの中を突っ切って帰った。背景の夕方の空が虹色に輝き、とても美しかった。その日は、鳥取からの「結海」の記事添削を無事にクリア出来た安心感もあったから、余計そう感じたのかも知れない…。

冬。凍んだ空気は好きだったが、スカートは足が特に冷え、とにかく寒くて仕方なかった。ズボン着用の男子が羨ましかった…。

高校時代から約20年経った。

今は、マイカー通勤である。よく自転車通学の高校生を見かけると、当時の様々な記憶が蘇り、懐かしさで一杯になる。

秋山佳栄（H11）

「ばんとう」から110年。おめでとうございます。

コナン探偵社
青山剛昌ふるさと館内
〒689-2221 東伯郡北栄町由良宿
TEL0858－37－5500

宝製菓株式会社
代表取締役社長　河　越　行　夫
〒689-2304 東伯郡琴浦町逢束1075-265
TEL0858－49－5555

育英、“24”時

学園さまざまに

早朝練習（6時）

朝掃除（8時40分）

ケヤキ並木を登校（8時）

1時限（9時頃）

楽しいお昼。クラスメートと（12時40分頃）

朝。ケヤキの並木道。

毎朝緊張と眠気で、学校に行くのが少し億劫だったが、青々を茂ったケヤキ並木を通った後は不思議と心が軽くなっていた。

暮れ。部活が終わる19時頃には、校舎内は静寂に包まれる。そんな中、聞こえるのが野球部と水球部のかけ声だった。

真っ暗なグラウンドからはノック音が響き、明かりの消えたプールからは笛が鳴り続ける。練習が終わる気配は全くない。文化系の部活に疲れ切った私は、「まだ帰らんの？」とよく不思議に思ったものだ。

校舎内での彼らは社交的で、少しお調子者の印象があって、私には苦手だったが、毎日暗闇に響く彼らの真剣な声を聞くうちに応援するようになった。また、「負けてたまるか」と、密かにライバル心を抱きながら私も部活に励んだものだ。

今でも人間関係に悩む事は多い。

だが相手を多角的に見て、長所を発見すると前向きな付き合いが出来るようなった。こんなことに気付けたのは、あの下校時間のおかげだ。あの時間を思い出すと私の心はいつでも豊かになる。

河西恵美子（H15）

部活風景（17時頃）

放課後課外（16時頃）

祝110周年。文武にパワーアップを期待します。

山陰合同銀行
取締役頭取　石　丸　文　男

有限会社 伊藤清掃
代表取締役　伊　藤　　喬
〒689-2316 東伯郡琴浦町下伊勢527-4
TEL0858－52－2532

様々な活動が地元紙の紙面で登場します。そして、写真で2017年の「育英の今」を伝えます。

写真・新聞報道で見るいくえい 2017

▲書道パフォーマンス（育英祭で）

▲全日本ビーチバレージュニア男子選手権（平成29年8月6日(日)）

男子バレー平成29年6月

今年の大運動会で。集団行進

「地域研究」の取り組み

古里の魅力を再認識
地域探究プロジェクトスタート

▲平成29年5月26日(金)　日本海新聞

▶水球部

▶レスリング部

（インターハイ出場）

▲平成29年5月22日(月)　日本海新聞

高田高（育英高取）V世界へ
一集中して登れた

小説発行を知事に報告

▲平成29年5月22日(月)　日本海新聞

▲育英祭（7月）

鳥取中央育英高校創立110周年。おめでとうございます。

鳥取中央育英高等学校
陸上部OB会
事務局　永代浩孝
〒689-2295　東伯郡北栄町由良宿291-1
TEL0858－37－3211

株式会社 鳥取銀行

部活 2017

男子バレー初の県制覇

強烈なスパイク！（手前育英）

現在、体育部13・文化部11が活動をしています。その中でも、やはり強化指定を受けている陸上・水球・レスリング・山岳の各部がしっかりした歩みを続けています。文化系では、全国高総文祭に連続出場している新聞部、そして美術部が頑張っています。

このような状況の中、さらに本年度よりレスリング部専用の練習場が完成しました。施設設備的に充実した体育系の活躍が期待されます。

特に男子バレー部は近年めきめきと力をつけ、ついに育英では“史上初”の県総体初制覇となりました。

（生徒会主任　石橋　昌晩）

※（何位は主な大会における県大会優勝・中国大会入賞・全国大会出場としました。）

□陸上

県総体

［男子］　110mH 優勝 西谷

走幅跳 優勝 塩川

4×100m② （塩川・中村・福見・眞田）

［女子］ 1500m・3000m 優勝　堀尾

愛媛国体陸上（出場）

塩川 少年A走幅跳

眞田 少年B100m

□レスリング

県総体

団体 優勝

個人戦フリー

50kg級 ①本田③福庭　55kg級 ①小川 ②吉田 60kg級 ①杉内 ②辻村　74kg級 ①若原 ③柳瀬　120kg級①山口

中国高校

フリー50kg級②本田　55kg級③小川　60kg級②杉内　74kg級③若原

インターハイ団体

２回戦敗退

フリー60kg級　ベスト16　杉内

国民体育大会出場

フリー 50kg級 本田　60kg級 杉内

グレコ 55kg級 小川　74kg級 若原　120kg級 山口

□山岳部

アジアユース　Ｊ女子 優勝 高田

世界ユース　Ｊ女子 リード ③

ボルダリング ⑤高田

日本ユース　ジュニア　⑤高田 ⑥古川

ユースＡ　③柯上

ボルダリング・W杯東京　⑤高田

ボルダリング・ユース日本

ジュニア女子 優勝 高田 ④古川

リードジャパンカップ女子 ③高田

中国高校クライミング

男子 優勝 柯上 ②中田

女子 優勝 高田 ③古川日南子

JOCジュニアオリンピック（8月）

ジュニア女子 優勝 高田 ③古川

ユースＡ男子 ③柯上

県総体　登山競技の部

優秀個人 石田

□水球部

中国高校選手権②

国民体育大会中国ブロック予選③

2017インターハイ出場

バレーボール			レスリング			
土井	蓮	3	若原	大輝	3	74kg
秋廣	伊吹	3	杉内	基輝	3	60kg
井上	毅	3	小川	元気	3	55kg
内田	博基	3	本田瑞太郎		2	50kg
伊藤	正人	2	山口	浩一	2	120kg
片寄	颯人	2	福庭	優	3	団体
木村	雄登	2	吉田	豪	3	団体
竹本	大雅	2	高田	起虎	1	団体
布袋	太陽	2	辻村	海型	1	団体
山上真那斗		2	柳瀬亜志朗		1	団体
山本	凱己	2	福庭	陽	1	団体
田中	俊斗	1				

東京2020目指してスポーツクライミング

（6月日南子ボルダリング日本ユース）

2016 進路

進路部主任　柯口泰丈

本校生の進路先は、４年制大・短大・専門学校・就職と、非常に多岐にわたります。一人一人の進路志望をしっかり考えさせ、個に寄り添ったサポートを教職員全員で取り組んでいます。ここ数年地元志向が強くなる傾向にあり、「地域のために自分にできること」を考える者も増えてきました。この地域に将来必要となる“未来の人材”が本校から多数出現することを願い、日々努力しています。

【国公立大学】９

鳥取2・山口・鹿屋体育・和歌山・公立鳥取環境3・静岡文化芸

【私立大学】４１

鳥取看護6・流通経済・城西・国際武道・専修・日本体育2・国學院・名古屋学院・龍谷2・大谷・京都外大・京都産大・立命館・阪南・羽衣国際・神戸女子・姫路獨協・関西福祉・宝塚医療・美作2・吉備国際・広島経済2・福山・四国3・九州共立・武蔵野美・多摩美・立命館・近畿2

【短期大学】２５

新見公立・鳥取18・京都文教・関西外国・大手前・神戸女子・神戸山手・美作

【医療系専門学】２８

倉吉総合看護5・鳥取看護2・鳥取市医療看護9・ＹＭＣＡ米子医療福祉7・履正社医療スポーツ・岡山総合医療福祉・梓山中央看護・四国医療・柯原医療

【各種専門学校】２３

ＹＭＣＡ米子医療2・鳥取歯科衛生・鳥取県立農業大学校3・米子産業人材Ｃ・米子ビューティー・京都美容・上田安子服飾・大阪医療秘書・関西ビューティ・関西保育・履正社医療スポーツ・ＭＳＨ医療・東洋医療・鳥取職業能力開発・山陰中央・鳥取県畜産技術・松江栄養調理製菓2・広島工大専門

【就職】

（公務員）５

大阪府警・鳥取県警・自衛隊３

（民間企業）２２

大山乳業・岡山農協・コクヨＭＶＰ・鳥サカイ引越センター・櫻井商事・新興鋼子・トリーカ・松本石材・明治製作所・ワールドストアパートナーズ・神鋼機器・鳥取東伯ミート3・倉西鉄工所・寿テント・岡本製菓 倉吉合・流通・休暇村 蒜山高原・東宝企業3

注：1名の場合は氏名省略

鳥取中央育英高校創立110周年。おめでとうございます。

株式会社チエウフ
代表取締役会長　大田英二
代表取締役社長　小柴雅央
〒689-2304 東伯郡琴浦町逢束1061-6　TEL0858-53-1771

山本印刷株式会社
代表取締役社長　山本和宏
〒682-0035 倉吉市広栄町971-21
TEL0858-47-0088

祝 鳥取中央育英同窓会総会

8月16日、倉吉シティホテルで夏の本部総会が開かれました。150人が出席。総会では、11月の創立110周年記念事業に向けた様々な取り組みが紹介されました。

記念講演は、本校で活躍された佐々木達也先生（音楽担当）。由良育英校歌のルーツなどクラリネット演奏を交えながら、ユニークに展開されました。

（本部事務局　奈代　記）

数年前までは、総会での出席者が伸び悩んでいました。しかし、3年前には300名超えでした。最近では150名が平均です。とても嬉しく感じています。

同窓生の皆様！これからも同窓会やクラス会など絆を積極的に高めていきましょう！

（監事　倉見　記）

夏の総会

「やあ！久し振り」！

出席者は150名を超える

記念講演・育英の今で、交流の輪

総会の出席者が150名を超えました。総会運営担当代を中心に、年度ごとに3学年が順番に幹事するシステムです。事務局担当の井坂幹事長2人のコメント・そして、幹事学年の声を掲載します。

育英の歴史を感じた

倉吉　由可子（昭和58年）

世代の隔てなく絆を深め、和やかな会でした。

思い出に花を咲かしておられる姿を拝見していると、育英との付き合いは浅い私ですが、不思議と育英の歴史のようなものを感じました。卒業生の方が集いてこられた色鮮やかな歴史に、在校生たちも美しい1ページを加えることが出来るよう、教員の立場から尽力したいと感じるような総会でした。

強い母校愛を感じた

小鹿　巧大（昭和63年）

担当して先ず感じたのは同窓生の皆様の、母校愛と情熱です。とても強く伝わってきました。

私は去年、今年と幹事をしましたが、驚いたのは協力金の額です。事前にすでに納付されているにもかかわらず、総会当日もさらに納付されるなど。

また、校歌の由来に関する佐々木先生の講演に熱心に耳を傾けられている様子。懇親会では、思い出話に華を咲かせておられる場面を多く見受け、同窓生の皆様の強い母校愛をさらに感じました。

"昔話"。思い出に華が咲く。

声をかけられているうちが花

竹本　紀雄　S42

今年も総会に出席した。昔は、関西の支部に参加させていただいている。

30代の半ばに、思師から声をかけられて参加するようになった。東京に単身赴任をしている時も遠距離なく関東支部に出席させていただいた。当時は懇親交流という流れがあり、役に立つかと思い軽い気持ちで参加したが、なんせ積極的でない私は寄り所を役に回り乗り役にはなれなかった。が、先輩方の真面目な生き方や話しぶりには感銘や共感を覚え、ストレスを感じることなく今でもお付き合いをいただいている。

自分のできることは微く浅くなっていきそうだが、声がかかる間はできるお手伝いはこれからもしていきたい。

（宮城県仙台在住）

乾杯―。スピーチ！

夏の懇会3景

クラリネット演奏を交え佐々木先生、熱い講演

総会出席者

▽B28 川上拓一　▽B30 石田昌弘　▽B30 西谷悦夫　▽B31 岸本健吾、山田節弘、柳本善友　▽B32 多田鳥子　▽B33 山脇栄一郎、石田裕道、石賀　博、村岡洋次、松井敏雄　▽B34 戸田雅明、牧原紀夫、相見優子、早川玲子、岡崎　祖　▽B36 小谷鉄一郎　▽B37 坂本秀樹　▽B38 遠藤一義、長岡義明、福留伸明、福山勝義　▽B39 岡田豊吾、熊山恒雄、柚本　徹、田中健市、杉原宣博　▽B40 平井　晴、南場兄一、藤田　明　▽B41 吉藤秀夫、飯田正恒、井中健一　▽B42 竹本紀雄、中井知子、時枝義博、竹越　厚、谷口厚史　▽B43 坂本正行、沖月一二三、斉藤和夫、柳本雄夫、吉藤駒子、松本嘉幸子、岡本広実、高田敏子、藤江美代江、岡崎　功、八木義昭、吉尾由紀子　▽B44 佐伯健二、佐伯嘉美子、中田恵家、桝原嘉義、田頭博文、島田和義、田中勝一、永田芳和、藤元鶴一、前田永宣、木本伸一郎、竹田博志、福田晴一郎、三浦雅俊、川上義博、藤山　明、中曽美代　▽B45 田中一朗、平野宏幸　▽B46 四門　勲　▽B47 岸田幸子、黒坂哲司　▽B48 岸田義明、松本清治、伊藤　博、山本秀正　▽B49 宇田川勝美、桐山時雄、山田敏明、西尾泰博、廣芳伸一、北中鶴一　▽B50 廣瀬賢治　▽B51 本生方明、西原貴夫、坂野新朗、小林弘明、吉田弘幸　▽B53 倉橋良文、山口真由美、鈴木　靖、福子雅司　▽B54 松本由美、竹安　修、門脇　博　▽B56 新本広康、竹崎朋夫、岡本　耳、木

おめでとうございます。鳥取中央育英高校創立110周年。

きしだ歯科クリニック
院長　岸田　崇文
〒682-0018 倉吉市福庭町1-222
TEL0858－24－5588

倉吉シティホテル
代表取締役　藤　井　武　親
〒682-0023 倉吉市山根543-7　TEL0858－26－6111

卒業して、今年で21年になります。時が経つのは早いなと思います。

さて、今年は同窓会の幹事学年として、様々な活動に参加させてもらいました。

これまで、同窓会の活動やもちろん同窓会にも参加してこなかったので少し緊張はしましたが、お世話になった先生方や諸先輩方に温かく迎えていただき、とても楽しく過ごすことができました。

その中で、「大変かもしれないけど、育英はもっと頑張って欲しい」などと、諸先輩方の母校への「愛校愛」が強いなと思いました。

高校時代の同級生や先生方と話をする機会があるのですが、その時話題になるのはいつも出身の育英の高校のことです。

同窓生みなが、母校の未来が気になっているのだなと思いました。

最後に、出身校の現在の状況を聞ける同窓会は、貴重な場所だなとこの感情を書きながら思いました。

今年で幹事学年は終わりですが、高校時代の友人とは時々連絡をとりながら、同窓会に参加してみようと思いました。

先輩方の、強い「学校愛」を感じた。

H8　川上　大輔

2年の歳会をお世話しました

幹事学年の大役で同窓会開く

S55　桑原　恵子

今年の総会は、開催55年の先輩たちと、H8年卒業の後輩たちでした。

年齢に幅の中の私たちの学年が、大役に挑戦をかけずに、先輩をリードしながら仕事をしなければならないという気持ちがありましたので、同級生に協力を仰ぐことにしました。

そこで、一昨年の正月に、学年同窓会を開きました。きっかけがないと左右なかなか集まれないもので、幹事学年という大役が回ってきたから頑張ってきた学年同窓会でした。

当日の総会準備については、会の直前に打ち合わせを行いました。

学年が違い、顔をしたことのない幹事高校生でしたが、鳥取中央育英高校を愛する思いをもった同窓生だけもこそ、阿吽の呼吸で進めてきたように思います。

同窓会のよさ、同窓生のよさ、そして母校に愛情を感じることのできた同窓会の幹事の重責を味わうことが出来ました。

次は「還暦同窓会」

S55　岡本　直

卒業して37年が経ちました。身体的には衰えていますが、気持ち的にはまだまだ高校生の気分でいます。私たちの学年は高校3年時に今の北栄町福庭の場所から現在の場所へと校舎移転した年で、皆で大移動したことを覚えています。

現在は皆さん御年の50代半ばで、今年8月12日に同窓会を開催し、40名の参加があり大盛り上がりでした。5年に1回同窓会を開こうということで開催していますが、いよいよ次は「還暦同窓会」です。大勢の参加を望んでいたいと思っています。

鳥取中央育英高校の今後の発展を祈り、卒業生としてできる限りの援助、協力をしていきたいと思います。

記念事業の寄付者（1/22～8/13まで）

第28 岡崎敬子　第29 荷古明郎　中尾れい子
第27 吉村千代子　平井政子　荒嶋美智江
第29 上野広　第30 大西文子　石田富弘　大久保麻博　竹留武　前田達直　福田敏　金平昇一　池本浩道　金長可　第31 桑田芳雄
小谷和枝　池本洋子　岸本俊彦　山下旭　山脇信正　東原敏子　金田浩子　谷井いつ子
金光重明　田中晴雄　第32 唐田九郎　定常哲功　多田典子　第33 石賀博　岡田正記
桑本忠巻　青山雄敏　第34 黒川里妹子　小林士郎　早川玲子　都嶋知直子　牧野紀史
相見恵子　藤谷紀代子　桑嶋喜二　先久昭子
門脇公雄　岡崎恵　渡部博也　上山寛光　明石峰夫　足立礼子　小嶋勝子　丹後紀美子
佐藤智子　田中美直子　今西玉江　桑安輝直
江崎弥雄　長谷川芳明　福井健治　山縣由美子　福光正子　柴垣久美子　山村義郎　山縣弘貴　岡本敦幸　西田敬子　植本武雄　林克子　佐藤雄子　植田紀久枝　戸田道昭　新藤美二　田中南　桑本紀雄　中原正　第35 岡崎太郎　大田鎮　河本勝　伊藤正　河本智雄子　高井愛乃　山縣弘道　桑下義直　第36 藤江伸枝　三村富美枝　佐々木雅史　第37 宮崎和正　熊谷寛　藤田泰生　第38 渡部一雄　中本昔已　山下勝雄　齊藤俊子
永田敏子　中原誠寛　佐田勝啓　佐藤昭　大丸博信　中本俊紀　塚村克子　福留伸昭　第39 清田安一　植本雄　山下昭夫　吉岡勇雄
田中晴治　林原直晴　高山智雄　第40 道祖馬均　山田行雄　板垣忠敏　市下哲夫　荻山雄雄　桑田崇夫　田中義巳　二宮正博　竹留芳雄　田中信和　大谷卓夫　黒見直治　佐田正　板垣正範　山本和正　山崎寛文　渡部孔俊　南海見一　第41 石賀典幸　狩川徳一
大西勝志　谷山京子　岩原敏正　吉田哲夫
佐々木久　第42 竹留厚　竹留厚　中井知子
矢筈輝幸　牧田和子　大谷直美子　砂原丸美
金田吉人　第43 福嶋秋久　宮馬由紀子　斉藤和夫　河本美枝子　吉賀祥二郎　谷本直美子　岡本はる美　山口幸雄　新本光枝　佐伯定雄　八幡伸八　福田明寛　徳江美代江　長花美孝　第44 桑原直雄　山下哲正　石賀美知子　桑本寛由美　田中直子　坂本克幸　永田芳和　田島寛人　鄭佳和芳　福井敏光　中留貴美代　道祖馬寛理子　山縣正二　小谷敏雄
前田敏輝　三好孝樹代　山崎直美子　生田邦夫　藤縄直行　岸口ひろ直　道祖馬博子　井村純子　今出富美江　石賀寛美子　谷下美直
竹内美子　前田永宣　山縣勝子　香塚裕子
福本真昭　渡辺真男　今村法昭　長谷川妙幸
宮本幸祝　永田一也　宮澤康美　大倉彦子
前田節江　藤田直理子　岩田真子　行成久子
竹中由吉子　川本直子　菊井雅男　家髙修子
馬崎俊文　古谷むつみ　馬岡博志　桑本達志
有留正寿　山本富士雄　安野和人　山縣勝子
奥田和雄　奥山輝己　田中直子　小谷純子
村岡加世子　田中文子　三嶋芳雄　都幸美直子　藤山邦子　長馬崇恵子　福谷弘子　谷本久美子　田鍋春子　岡本勝博　仲倉祥子　起越恒雄　佐伯健二　第45 西中明美　桑田彦原　石賀雅育　馬岡春博　三嶋啓子　岡口和寿　井上直恵子　岩原千鶴　谷本和夫　桑下雅雄　第46 岡本恒之　黒田俊一　四門勝　馬岡美子　安田敏　福田祥子　第47 桑原寛智代　岸田幸子　藤山昭夫　宮沼卓見
桑本稔子　福千枝美　岡口雅代　多田保子
前田由美子　和嘉寛由美　岡安裕一　徳江純
中本正明　吉田元雄　黒谷智司　第48 金山久直美　長花美明　太田和歌子　笠見和男
唐田貴代美　田中修子　長谷雅春　岸田寛昭
第49 三宮浩人　岩本直裕　角勝　唐澤祥一
飯田敏子　鈴岡正子　矢筈裕子　宇田川勝美
福本美唐　角安範　平林輝彦　岸田年晴　桑本智夫　北中純一　谷井智仁　寺本純代子
谷井和治　宮田伊史　横原勇一　伊藤直克芳
横山崇雄　吉田勝治　大下幸彦　角田正人
市本勝　越前裕之　桑本礼二　田渕健子　新田英次　徳江孝　藤原寛司　小谷芳春　亀本一義　山田政男　足立みどり　谷口千鶴子
浅井英美　武馬俊雄　第50 藤井俊子　岸口道博　三嶋敦子　藤原寛治　第51 村岡美由紀　後山英正　小谷敏子　小谷弘明　山本勝康　伊藤公平　亀田達一　大馬勝彦　亀田和男　前田勝司　谷井公明　金田有司　金田祥子　小芦和之　吉田弘幸　河嶋明彦　田口勝美　伊藤亮　藤本信一　馬崎信雄　山本康は
本庄克明　西原信男　河田高志　河崎紳子
山崎政一　藤見裕昭　第52 岸田敏子　加藤孝雄　岸本哲也　吉田仁美　谷田茂樹　竹中哲宮　第53 井川敦雄　岡崎健一　永代真理
後山直彦　宮沼真由美　中本公人　藤田博司
宮田勝代　船越孝子　藤原昭彦　中島立志
藤田智明　藤原勝雄　石倉通晴　石倉百合子
下阪啓二　馬川みゆき　中馬有香里　柏美喜雄　谷井克幸　相馬真里子　柏藤美　岸田千卯　遠藤ひとみ　西田雄二　第54 門脇文生
雅名克彦　中原原子　吉田千代美　第55 田口博文　木村昭雄　鳥本広康　岩本一志　小谷哲次　第56 伊達浩二　米田浩一　三田孝子　本庄雅　中嶋政彦　鈴木健一　後井美雄
後井裕子　第57 中口芳雄　大倉東夫　東真志
宮脇幸敏　藤田和広　第58 市村勝栄　中原裕之　田村昭道　福本敦夫　渡部芳光　後田芳雄　小西富吾　山下啓二　増田英之　中倉美直　山田美鈴　後山ゆくみ　第59 山本文彦　中宇雅明美　山中敏子　別田原子　後美保　山本浩一　吉川仁彦　第60 岡本美加
川上一敏　東浩　牧貴博　東原由江　小原工
岩崎千恵美　第61 高近哲也　三谷敏秋　田中昭栄　山縣邦子　山本浩子　第62 平井省三　中村和雄　河井雅浩　佐々木志郎　竹本博和　第63 手嶋勇臣　後山敏道　福本明直
前田知直　小郷晴　郷村美雄　佐々木政治
谷本真一　H1 古田裕一　深田富佐夫　前田
聡二　河原直雄　中西新仁　H2 牧田覚　田
測昭彦　郷孝一　後村雅明　生田智美　H3
真壁卓美　倉本みゆき　宮城丈　谷川雅志
宮脇知方　後井直　H4 小林啓一郎　河本雅
彦　八塚幸敏　後山誠一　H5 前田保浩　中
原大輔　前田裕作　石川敏子　大島美保　H
6 天野勝彦　河口美智　後山聡二　岩山真紀
宮本祥平　H7 藤谷有紀　川本正志　長田雅
直　大都春美　吉本正幸　桑田康之　伊藤旗
枝　H8 福祖晶孝　後本法直　石川誠　桑田
健一　川本智司　竹腰芳貴　H9 大野敏　河
古知里　桑下久　H10 山縣雅一　三浦裕
田中伸二　金長千尋　H11 後山佳保　H12
後山芳雄　馬崎祥二　定常応彦　田中誠一
H13 河崎智雄　山田哲也　長新志　後村誠
一　後永陽一　宮本芳徳　H14 中本一也
馬谷真一　河崎愛　H15 山田真二　金子峰
衣子　後本誠司　谷田明日香　戸田勝裕　H
16 三谷生雄　岸田元気　後田美明　H17 山
田香文　西川貴大　H18 鈴木知夏　桑田竜
介　安田陽一　後本孝史　後月亨太　H19
小堀大輔　西山芳一郎　馬谷直人　H20 原
原弘行　金田祥雄　長嶋勇士　西村伸也　岩
起幸朗　H21 谷川雅太郎　河田浩介　H22
後田雅紀子　藤原祥希　H23 前田拓也　鳥
本雅月　H24 後月一真　高田玲奈　H25 小
倉健吾　H26 後田雅太郎　中野晃寛　増井
克H27 米田高平　東谷雅太　谷田美佳　在
学中 山本唯　外部協力者 島原圭介　その他
金本俊一　伯河崎　米原美雄
現職員
河原富紀　宍戸晴雄　三谷敏彦　田中晴安
平林浩　谷馬晴夫　生田豊　近藤敏彦　伊東
寛敏　山縣政俊　田嶋康　北岡弘　牧田朱美
小森巧大　藤岸一　河井達之　知久馬大輔
吉馬昌之　後江智宗美　岩崎敏雄　三角覚
山田史子　岡本哲也　河口春文　前田幸男
小原修治　青木祥　金髙由可子　米田真一
小林吉伸　大本正史　馬名圭司　前田裕也
石崎喜晴　小原裕司　谷谷敬　高橋孝子　山本春子　永代浩幸　新本久志
村岡智　▽B60　福本雅美
本田　馬　赤井裕子、田中里美、遠藤幸雄　▽B59　竹内春一、中原裕之　▽B60　柴田文人、宮脇一巳、岡本義加
▽B61　畑田寿博　▽B62　神宮弘幸　▽B63　斎藤康子、大塚恵代、大前直美、米田健二、高田春美、藤井宮美、谷本真一、朝原直恵、横山敏道、大西康裕、小畑　靖、柏木真昭、福本まゆみ、中川明美、山根尚子、藤田裕仁
▽H1　中西研仁　▽H2　山根勝治、倉本秀樹、安谷志治　▽H3　三嶋裕司　▽H5　田中安真　▽H6　北尾和美　▽H8　廣江志廣、川上大輔　▽H10　倉長千尋　▽H15　谷田明日香　▽H16　山内瑞子、福本翔平

創立110周年をお祝い申し上げます。

株式会社 ヘイセイ
代表取締役社長　種子　晋司
〒689-2303　東伯郡琴浦町徳万731
0120-545-646

東伯ガス産業株式会社
代表取締役社長　種子　晋司
〒689-2303　東伯郡琴浦町徳万731
TEL0858-53-2211

鳥取中央育英高等学校
水球部OB・OG会
会長　御崎　智徳
〒689-2295　東伯郡北栄町由良宿291-1
TEL0858-37-3211

支部の動き

本会には12支部があるが、今号では４月以降の動きを掲載した。

【支部】
関東（鳥総会）・関西・東部・東海・羽合・三朝・倉吉・北条・大栄・東伯・赤碕・西部

関西

「故郷」を大合唱で終わる

（と者6月4日、ところ「大阪東急REIホテル」・会員・来賓合計50人が出席しました。

▲50名を超える総会

「校歌」を斉唱の後、岡田関西支部長の挨拶、来賓の佐伯会長から挨拶をかねて、

①創立一一〇周年記念事業②平成31年の高校野球と本部の動きについて説明がありました。

続いて母校からの報告。

①「卒大路」の連続15回出場記録が途絶えたが、今年は復帰して、雪辱を期す。

②女子山岳部・男子のバレーボール部が、インターハイ出場を決めた等の部活の状況が紹介されました。

総会は、滞りなく進行しました。

第二部の「懇親会」は、山路副支部長（33年卒）の乾杯の発声で始まりました。

「地酒」が鳥取県関西本部から差し入れ、「あご入り鶏肉」が母校本部から差し入れされました。

岩山県人会会長や倉吉と倉敷支部関西同窓会長の出席、田舎料理も飛び交い、楽しいひとときとなりました。

恒例の「故郷」を、井原さん（25年卒）の八一モニカ演奏と、三谷さん（33年卒）の声量豊かな歌声に加え、全員で大合唱、三谷さんの「一本ジメ」で終了しました。

来年の総会

6月3日（日）11時から　大阪急REIホテル

記念イベント計画中です。

（幹事長　山本）

6月17日（土）、倉吉シティホテルで開催された「倉吉の集い」に参加した。

4回目の参加となりますが、今回は同窓生の"士気を高める会"であったと感じた。次代を担う新役員決定後初めての総会。平井新支部長の「若い力で頑張っていきましょう」という決意表明。

今年110周年を迎える母校の記念事業を、育英のDNAを継いだ同窓生の力で盛り上げていこうという意気込みでした。

そして、佐伯同窓会長の「高校生活での思い出は人生の宝であり、その感謝の気持ちを後輩に伝えていくことが同窓生の使命である」という挨拶がありました。

世代は違えども同じ学校で育った私たちが、気持ちを一つに伝統ある母校を守っていく一助にならなければいけないと、改めて気づく場となりました。

（記　吉尾　H11）

関東（鳥総会）

活動継続とその心がけ

事務局　独川　敏一　S41

支部活動は、年始の鳥取県人会開催の案内の連絡、6月開催の支部総会、ほかには同窓会本部から届く情報のメール配信などです。一番時間・労力、予算を使うのは総会準備とその実施に尽きます。

私が初めて総会に参加したのは平成24年（それ以前は案内がなかった）。26年から事務局を任され、過去4回総会を担当しました。

同級生のM氏から「パソコンを持っていないので、事務局をやってくれ」と懇請され引き受けました。引き継いだ資料等を見て感じたのは「何だこれは、同窓会でなくて同好会だ」ということでした。…とはいえこの辺りは各支部もほぼ似たような状況かと推察します。

「同窓会」として総会を開催するには案内対象者が急増するということです。平成25年版の同窓会名簿が発行された時でしたので、関東地方の同窓生を抽出し、引き継いだ名簿の2倍ほどの会員に案内をしました。

その後、支部は鳥取県以外では関東と関西しかないことを知り、東海・北陸以東、北海道までの会員に案内の対象を拡大しました。

これは事務経費に跳ね返ってきますので、否定的な意見も頂きましたが継続しております。また母校にお願いし、関東地方に移住予定の新卒者を教えて貰って案内もしています。すべては総会参加者数を増やすためです。案内総数は千通前後です。総会案内業務には作業は同級生等にお願いして手書きで参加呼びかけの追記をし実施しています。

総会参加者は60人くらいから、ことしは85人に増えました。それなりの効果が上がっていると自負しております。参加者数目標は案内総数の1割「3桁」です。参加者の増加は活動の活発化と認識し、今後もこのやり方を続けようと思っているところです。

倉吉のつどい

「母校を支えよう」というムードでいっぱい

支部の枠をこえ、70名を超える参加者

鳥取中央育英高校創立110周年。おめでとうございます。

倉吉スイミング
代表取締役社長
大塩とよみ
〒682-0034 倉吉市大原569
TEL0858－22－6699

株式会社　いない
代表取締役　天　野　達　也
〒682-0924 倉吉市河原町1770　TEL0858－22－3580

西部

二次会も盛り上がる

（7月8日（日）ホテルハーベストイン米子本部から　佐伯俊二同窓会長、学校から三谷雅彦教頭先生に出席していただきました。

総会は滞りなく終わり、その後、母校の創立110周年記念行事について、会長・本部事務局の説明がありました。

懇親会では、自己紹介・高校時代の思い出、卒業後の話など盛り上がり、和やかな雰囲気の中で来年の再会を約束し、その後早速近く二次会へと散会しました。

（西部支部長　木下　博夫）

和やかに懇会

活躍する同窓生

ロンドン世界陸上選手権に出場！

鳥取市　鈴木　峻（関西大4）H担

5月の「関東陸上インカレ」で400mハードル49秒62で優勝、日本選手権（6月）で代表選考基準記録を突破、鳥取県勢として8年ぶりの（短距離種目としては初出場）世界選手権出場を果たした。

城西大学七、昨年学生新人選手権で優勝、学生国体では8位入賞している。

指導した永代先生の話

「彼の長所は、400mの走力アップと思う。高校時代は15歩だったハードル間のインターバルが13歩になり、外国人選手と同じ歩数になった。しかし、まだ、スタミナ不足。20年東京オリンピックに向け、もっと、トレーニングを、期待しています」

若い世代の参加増える

赤十字奉仕団　野坂　典久

その1　支部総会のこと

（5月25日・光本鉄理店　参加者39名）

いつも、この時期は高校総体や農業祭で忙しい中、学校長や同窓会長の挨拶を頂き、母校の活躍とサポートを強く感じました。

今年の会は、若い年代の参加が多く、今後の支部活動が活性化すると確信し、嬉しかに感じてきました。来年は今年以上の参加者を期待して閉会しました。

その2「ぼんとう」にまつわること

読みやすく、また、郷土の教育の為皆々と尽くされた情熱、克己の精神改めて同窓生として感じた次第です。

そして、少年のとき豊田太郎先生が、少なからずショックを受けた第1選挙での鳥取県「本国寺書弁」にかかわった三千二百の一人次郎氏は、明治四年に一家を挙げて赤崎に移り住んでいます。

地元の赤崎小校で学校長として勤務し教育に身をおいていたとのこと、明治9年8月鳥取県が廃止され島根県に統合されたが、彼は因幡士族の誇りが高く、小藩鳥取藩の配下についたという屈辱で教育者としての情熱をなくし、その後、赤崎の地で天寿を全うしたと伝えられています。

そうした中、豊田太郎先生の生涯を通るものない教育への情熱は、後々同窓生が感じたかく持ち続けていきたいと感じました。

赤崎支部の総会のワンコマ

今年の全日本実業団で快走

豊山　勝彦　H担
足立　由貴　H担（ホクト）

先頭が豊山、後方が足立

□全日本実業団陸上（9月23日）

女子一万m
2位　豊山　5位　足立

日本女子中学生水泳のトップスイマーに成長

石田　静子　H担

□最新自己最高記録（4/13名古屋）
女子水泳100m・200m
二〇〇m

□「静子ちゃんえひめ新聞」
成年女子100m1分8秒8
「秒々に自分自身のレベルも上がると、有難いことに周りからの期待も増え、その期待に応えたいと思う気持ちが強くなり、ここまでくることができました。また、自分自身も勝ちたい、勝つんだ、と思えるようになったことで練習量も向上することが出来ています！」

「今後も、更に上位に食い込めるよう、もっと応援してもらえるよう頑張りたいと思います。よろしくお願い申し上げます。!!」

レース終わって喜び爆発

学年同窓会だより

来年11月「卒業50周年記念」同窓会開催します。

S43　高等　和夫

8月16日、昭和43年卒業したメンバーが、鳥取中央育英の集会にあわせて、28名が参加して親睦会を開催しました。

来年、「卒業50年記念」同窓会を11月に県内中部地区で開くことも、参加者全員で決定しました。

多くの方が参加していただけるよう、目指して行きます。

久し振りに当時の面い

卒業後10回開催しました

①卒業後、9～10回開催
S41～63年　1回
H4・8・12・16・19・23・25・27年平均出席者70人前後
②但し前人1名クラス3×7クラス合計21名が中心になって開催。
「開催までに3回の打ち合わせをを苦労しながらしていた。それが楽しい。それで連絡情報交換している。多くもてるのはそれが楽しかも」
「同窓生に会ったら、高校時代に戻れ会話が弾む。世話の苦労は、そんな楽しさで消えてしまいます」

S34年
「喜寿記念同窓会」で64名集う
H元年「還暦記念」
H12年「還暦記念」
H22年「古希記念」
H26年「同窓会」
H29年「喜寿記念」
64 58 89 66 59

同窓地区同窓生の会「民目の会」毎年花見・紅葉狩計30回座

（次年より名前い）学年の情報を事務局宛にお知らせください

書・絵の世界で、個展開く

□山田美鈴　S58
鳥取県・倉吉市展出品
「山田美鈴書道教室30周年作品展」
8月11日～17日

□南場兄一　S40
「出会いを絵でしるす日記」
（鳥取県魅力ある展示支援事業）
9月30日～10月30日
鳥取市浜坂美術館

□佐伯直美子　S44
「洋画ふたり展」
11月23日～12月3日
湖谷定好写真記念館

左＝岡　太一

リオ五輪出場にあと一歩！代表選考会で5位

レスリング　岡　太一　H担（自衛隊）

「東京五輪目指して、しっかりした計画と強い気持ちで一日一日の稽古を大事にして金メダルを狙いたいと思います。まずは、12月の全日本選手権です。頑張ります」

鳥取中央育英高校創立110周年。おめでとうございます。

㈲倉光建材
代表取締役社長
倉光　公治
〒689-2352
東伯郡琴浦町浦安223-16
TEL0858－52－2218

㈱東伯土建工業
代表取締役
長谷川　和文
〒689-2311
東伯郡琴浦町中尾733
TEL0858－52－2462

有限会社
あぶい蒲鉾
代表取締役
油井　弘行
〒689-2301
東伯郡琴浦町八橋363-2
TEL0120－1089－52

緑ケ丘歌壇

噴火の大山

九月十一日　　岸本　敏孝　S31

白雪の
　彩光りゆく大花野
埋み入れて
　花野に多き咲れ道
ベンションも
　花野の景の一部分
秋深む
　先達者を来ればなほ
秋晴に
　北壁は風を正したる

山毛欅紅葉
　朝かりを受けてる樹海
山毛欅紅葉
　燃えて二の次三次
七かまど
　赤し南壁指手の間
樹海でふ
　晴れは解くて山毛欅紅葉
晴れは解くて山毛欅紅葉
　赤き紅葉ひ
　赤ねて今日の紅葉晴

雪門さん

乗田のり代　S34

この街のそこここにあり君彫りし七福神や喜多の像が
あの時に見彫り見しよいま完成の仏像を見るテレビ画面に
木曽檜の木槌つよき音を放つ　見彫の中み仏刻し
六十年ひたすらに彫り仏師さん君は生涯ほかに持たざり
雪門さんと慕われる君　紀彦という生徒でありし名われら知るなり

言葉

山下　誠子（せいこ）S44

言葉でノックダウンした一発でローンウルフの野郎勝手に
順位より走るコースの紅葉の吉野を楽しむ駅伝中継
鮮やかな赤のあおきに地震後の今を忘れてしまいたくなり
アレッポの石けん使う風呂のなか湯ぎる不生はISのこと
どうしても海苔の字が目に留まる信号待ちのわずかなときも
結婚も孫みこれでもう我が役ではないと万めば清明り寂くなり
モノよりも言葉欲しいという女へはじめて送ず誕生日カード

来場者を迎え上野板祥一 作　H47
（あっぷるはうす）

緑ケ丘 紙上作品展

注：このコーナーで紹介されている作品は、第1・2回の「本紙生作品展」で出品されたものを会場で撮影したものです。（但し、山田清治さん書除く）

岸本　敏夫　H4

山下　誠二　H54

山田　清治　H54

有福　俊和　H4

故宮博の生徒の作品

「第53回国展現代美術展」に廣田九修さんが見事入賞

（廣田作家S32岡山市在住）

7月2～8日、東京都美術館で「第53回国展現代美術展」で廣田美術協会賞を受賞された。同賞は上位3番目の栄誉。

作品は高さ42㌢、幅32㌢の「御前剣花入れ壺」。廣田さんは「新しい技法に挑戦し、成功した。評価され、大変うれしい」と喜びの声。国展国美術協会は絵画・彫刻・工芸の3分野でアジア諸国の美術作家に研さんの場を提供し、アジア美術文化・発展に寄与している。

鳥取中央育英高校創立110周年。おめでとうございます。

有限会社
山本おたふく堂
代表取締役社長
山本　浩一
〒689-2301 東伯郡琴浦町八橋348
TEL0858－53－2345(代)

白バラ牛乳
大山乳業農業協同組合
代表理事組合長　小前孝夫
〒689-2351 東伯郡琴浦町保37-1
TEL0858－52－2211(代)

有限会社
石見会館
代表取締役社長　石見真嗣
〒689-2303
東伯郡琴浦町逢坂443-1
TEL0858－53－0303

Shinki
新木コーポレーション
〒689-2201　東伯郡北栄町西園350-1
TEL0858－37－3221(代)

学年のページ

昭和63年の巻

育英での思い出

東井　宏幸
（メモリーランド鳥取）

在学当時に60周年の式典があったことを覚えているので、それからでも30年。感慨深く思います。

僕達が入学した昭和60年は「わかとり国体」の年。入学式を無事終え、高校生活初の健康診断がありました。当日男子は1年生から3年生まで同じ体育館で行いました。先輩方は国体強化選手が多く、後の高校チャンピオンや県代表の方が多数いらっしゃいました。その先輩方の身体を見て「僕もここで生活したら、あんな身体になるんだ！」と、勝手に想像していました。結果は目も当てられませんでしたが…。

学生生活での一番の思い出・宝物はなんと言っても友達。学生生活はもちろん、今でもいい関係を築いています。会う回数は年とともに減ってきましたが、何かあるとすぐ会う事が出来ます。友人関係は一生続くでしょう。学生生活はいろいろなことに出会う可能性を秘めてます。

勉強・部活・地域活動・僕と同じように大切な友達。110年の中の3年間だけですが、この有意義な時代をそれぞれの世代が導く、また新たなストーリーが生まれていくのだと思います。

今後も鳥取中央育英が発展していくことを祈念し、陰ながら応援していきたいと思います。

圧倒に強かった陸上部

切磋琢磨しようとする感覚を初めて味わった

大西　康浩
（鳥取県総合教育センター）

創立110周年おめでとうございます。学校がさらに歴史と伝統を重ねたことに、卒業生として大変嬉しく思います。

私は昭和60年に入学し、部活は陸上競技部に所属しました。入学の年、全国トップクラスの先輩方が多い中、切磋琢磨しようとする感覚を初めて味わったのが高校生活だったと思います。

「やってやれないことはない、やらずにできるわけがない」とお話をいただいた横山隆義先生の言葉は、今では我が子に話す言葉になっています。

一緒に練習ができたことは、その後の自分の目標や意識・取り組み方を大きく変えるきっかけになりました。

水戸黄門のテーマ曲「人生捨てりゃ苦もあるさ～！」が流れる中、トラックを駆命に走る同級生の姿を見て、一本の線でまに力が入りました。頑張る仲間を誇め信頼し、共に切磋琢磨しようとする感覚を初めて味わったのが高校生活だったと思います。

平成元年の巻

人との出会い 恐れず踏み出す

中西　研仁
（有日本海新聞社）

私の高校時代は部活をして帰ってくるだけの毎日でした。

部活も県大会止まりで、あの頃の自分は何かをしないといけないけど何をしたら良いかわからず、ただ怠々とした日々を過ごしていました。目標がないので当然学業にも熱が入らず、卒業した時、自分は空っぽなのだと自覚していました。時代は1980年代、頃のスキをかじり、世界の大学進学を選択しました。

大学生活の終わりになんとなく地元に帰ることを決断し、運よく地元新聞社に入社でき、早や23年になります。

ずっとコンプレックスを抱えていましたが、色々な人との出会い、人からの励ましなどで何とかやってこられたと思います。働く上で取り扱う商品が新聞なので、誰でも地域の出来事をそれなりに詳しく知ることができました。周囲の人と関わりながら働き、ようやくこの歳で地域に貢献していると感じられるようになりました。

高校生が輝く無気力感、倦怠感は、とても理解できます。たぶん解決するための特効薬はなく、ひたすら自問自答し、悩むことが良いと思います。

加えて人との出会いを恐れず、一歩を踏み出すことができれば、何か方向性が見えてくると思います。

◀育英祭パレード

「ピンクパンツ」 憧れが教職の道に

長見　忠司
（大栄中学校長）

わかとり国体が終わった次年度に入学し、憧れのピンクパンツ一由良の陸上競技部の門を叩きました。

強烈なインパクトの先生との出会いの中で、「目は口ほどにものを言う」「故障なき者を名馬という」「食べない試合をする」などの名言を「竹槍の耳」で聞いていた高校生時代の私ですが、日本一の生徒を育てたいとの思いで、教職の道に進みました。

今になると、あの時の言葉が「座右の名言」として私が作ったかのように生徒に語りかけています。

「竹槍の耳」でもどこかに引っかかるところがあったのだと耳に大タコができるくらい話をしてくださった強烈な先生に感謝しています。

個性の強い先生方との出会いから今の自分が創られているのだとつくづく実感しています。

現代

平成3年トリオ

私達は平成3年卒業の岩佐祥、尾立純、藤谷一朝です。

当時、一番の思い出は3年の育英祭で演劇を制作し発表したことです。

小学生の頃から「映画監督になりたい」と公言していた尾立が、脚本から演出、撮影を務めた傑作のクラス作品は見事、最優秀作品賞を獲得しました。

その後卒業し、私達は上京しました。やがて岩佐は、結婚し家業の自動車会社を継ぎ、藤谷は大阪で映像製作会社を起業。尾立は長年の夢であった映画業界に身を置き多くの脚本を手掛け、皆それぞれの道で頑張っています。

卒業し、四半世紀経った平成28年に、尾立が脚本を書いた「百年の恋」が日本アカデミー賞を受賞しました。

私達3人は、この作品の上映会とトークショーを倉吉未来中心で開催することを企画し、多くの来場者があり、大盛況となりました。その時、育英同窓会に温かいご支援をいただき、多くの卒業生の方にも作品を観て頂くことが出来ました。

尾立は、「いつか郷土で映画を撮りたい」という野望があり、私達も仲間として彼の次なる夢をぜひ実現させたいと思っています。

いつか、私達が過ごした学び舎や、懐かしい風景が映画に登場するかもしれません。

育英の今後ますますの発展を祈念致します。（岩佐　記）

仲よしトリオ 今も続く

鳥取中央育英高校創立110周年。おめでとうございます。

倉吉信用金庫
KURAYOSHI SHINKIN BANK
理事長　笠見和則
〒682-0806 倉吉市昭和町1丁目60番地　TEL0858－22－1111

鉄板 ふくもと
福本　勝則
〒683-0804 米子市米原1454-9
TEL0859－30－4964

2007～17年へ

この10年主な事柄

2008年	豊田記念会館完成
2010年	32年ぶりに大運動会復活
2013年	１年生職場体験開始
2015年	地域創造ハイスクールサミット開催
2016年	鳥取県中部地震発生
2017年	創立110周年記念式典

◀人材育成のシンボル「豊田記念会館」（財団法人「晩翠育英会」からの寄附による）

由良育英高校の最後の校舎解体（2015年秋）

2007国体で優勝（山岳）松浦さん
※強いスポーツクライミングの礎が出来る。

甲子園へあと一歩…。（3度目の夏の県大会準優勝　2012夏）

110周年記念事業とインフルエンザのこと

浪花良孝（S43　校長在職H19～22年）

「一番の思い出などは、創立100周年です。全てが終わった時、子供の頃の祭りの後のような少し寂しいようで、ほっとした気持になりました。準備するにあたり豊田太蔵・収先生のこと、育英の歴史を改めて学習し、人材育成の大切さを痛感しました」「太蔵先生の日記が京都の古本屋にあると聞き、京都在住の門脇公雄さんに案内をしてもらい店へ行きましたが、既に無くなっていました」

「母校の校長に就いて思ったことは、進路保証の充実と部活動の活性化です。高校３年間は短い期間ですが社会へ踏み出す準備のため大切な期間です。その為には様々な活動に取り組み自己発見と挑戦する姿勢を養って欲しいと考えました」

「新型インフルエンザの流行。県下初の集団感染が発生して、様々な対応に追われ連日緊張の連続だったことが思い出されます。後に、この時の危機対応は高く評価され表彰を受けましたが、水球部は直前の検査で感染の疑い。国体予選辞退で生徒・保護者の落胆の様子に言葉になりませんでした」

「110周年は育英の歴史を振り返り、そのアイデンティティを確認すると共にこれからの育英の決意を示めす良い機会です。一層の発展をお祈りします」

「いま、育英も少子化の影響を受けていますが、発想を変え、逆にこの事を好機として捉え学校づくりを進められることも一案だと思います。最先端の技術や情報も大切ですが、少人数だと職員と生徒のお互いの理解がより容易になると思います。互いに認め合うような環境で、日々の活動ができれば学習や部活動など学校生活が一層充実したものになると思います」

黒松悟司　S47

（校長在職22年～26年　通算27年の育英生活）

「高校時代は、陸上部で、「日本一」を合言葉に猛練習に明け暮れました。２年の頃大学に行きたくなり受験勉強を始めましたが、部活との両立に苦労でした！。３年の国体までなんとかやりきれたことは私の財産です」「母校に教諭として生活したときは、陸上指導が生活の中で大きなウエイトでしたね。常に全国のトップレベルを求められ、プレッシャーの連続。試行錯誤の繰り返し。部員とともに泣いたり笑ったり、悔しがったり。素晴らしい思い出です」

「育英の管理職。大変光栄なことでした。どういう学校にすべきか、自分は何ができるのかいつも考えていました。同窓生や保護者の願いでもある、特色ある普通科進学校であり続けたい、そして地域から信頼される高校として評価されたいとの思いで色々取り組みましたが、やり残したことがいっぱいです」

鳥取中央育英高校創立110周年。おめでとうございます。

有限会社 青山車輌
〒689-2221 東伯郡北栄町由良宿483-4
TEL0858-37-3121(代)

赤碕町漁業協同組合
代表理事組合長　祇園行裕
〒689-2501 東伯郡琴浦町赤碕1735番地先　TEL0858-55-0421

緑が丘の流れ、

創立100周年の'07年から110周年目の今年までの推移をまとめてみた。

▲全校生徒で人文字
（ドローンで撮影台場公園で）

書道パフォーマンス「無限」の文字（写真＝書道部・クラス写真：2017育英祭で）

2027年
本校はこのような学校である

学校長　御厨高紀

強化指定の陸上競技・水球・レスリング・山岳の４部が再び全国制覇校として君臨し、甲子園常連校の野球、インターハイ・春高など全国で大暴れするバレー、ソフトボール等々、各部が存在感があり、全国から志願者が後を絶たないトップアスリート養成校の名を確立している。

地域創生が日本の最重要課題とされる中、本校生徒の活動がこれからの地域創生の鍵をにぎると国を挙げて注目され、全国のモデル校となった。鳥取県が地方創生の最先端を進んでいるが、その牽引者、中心となる人材を輩出する学校として全国から注目されている。

芸術、スポーツ、知力など多彩な能力を伸ばし、日本のみならず世界で活躍する人材が豊富で、1500人集まる毎年の同窓会の豪華な顔ぶれに多くのマスコミが取材に集まる。

全国入賞の部活成績

【平成19年】
全国総体　レスリング③横山　国体　レスリング⑤遠藤・山長（優勝（松浦・藤田）・④（山崎・吉岡）クライミング⑥福本・吉岡　年間紙面賞金　新聞最優秀賞

【平成20年】
全国総体インターハイ　レスリング③遠藤　水球③
国体　レスリング③遠藤　女子ボルダリング⑥（東・小塩）・リード⑥東・小塩）
全国年間紙面賞金　新聞最優秀賞・全国新聞コンクール奨励賞

【平成21年】
国体　ボルダリング男子③（山本・長谷川）女子④（吉川・岡本）・女子リード⑥　全国高校新聞　最優秀賞

【平成22年】
全国総体　水球⑤　国体　水球③　レスリング②妻田翔⑤妻田⑤手島　バスケット⑤本多

【平成23年】
全国総体　水球③　国体　水球準優勝

【平成24年】
国体　陸上三千m②前川　レスリング⑤山根・グレコ⑤妻田　水泳少年女子B　百m平泳ぎ⑤石田　男子ボルダリング③
（高田・高力）・男子リード⑦

【平成27年】
全国総体　レスリング①鳥目③小川

【平成28年】
国体入賞　女子ボルダリング　優勝（高田・古川）・女子リード②高田・古川　陸上　少年男子A　百m⑤鳥目　レスリング
グレコ⑤鳥目　フリー⑤小川

横山尚登　S49
（校長在職26年～28年
由良育英・赤碕と合計31年）

その１　「わかとり国体」を控えた３年間は選手強化に明け暮れる毎日でした。選手ともがき、苦しみながらも石川インタハイ男子総合優勝・「わかとり国体」陸上総合優勝に貢献することができました。国体のあと生徒会活動に力を入れ、学園祭に森田健作氏（現千葉県知事）を講師として招きました。

その２　赤碕高では、「レクリエーション指導」のカリキュラムを作りました。平成17年、赤碕高閉校式の司会を務めながら、涙が止まらなかったことが昨日のことのようです。

その３　私が育英の校長でいられるのは２年しかないことが分かっていたので、疲れを感じる間もなく突っ走ったというのが実感です。

「地域探究」という活動に的を絞って取組みました。県庁で校長の辞令をもらうとすぐに松本昭夫北栄町長に面会を求め、「地域探究」の構想を説明したら、即座に賛同してくださいました。平井伸治知事に講演いただくと生徒からは「東京もいいけど鳥取県もいいなあ」などの感想が多数寄せられました。「地域創造ハイスクールサミット」には県内外から７校が参加し有意義な議論が行われました。

今年は創立一一〇周年です。生徒に母校の歴史を知ってほしいと思います。そして、これを契機に若い同窓生と年配の同窓生が一緒になって母校の未来を語り合えるような同窓会活動になるといいですね。

「地域探究の取り組み」

▶フィールドワーク

平井知事が講演（平成25年5月）

鳥取中央育英高校創立110周年。おめでとうございます。

株式会社　井木組
代表取締役社長　井木敏晴
〒689-2501　東伯郡琴浦町赤碕2000番地1　TEL0858－55－0811

有限会社　どさん娘
代表取締役　山田節弘
〒689-2201　東伯郡北栄町西園504-1
TEL0858－37－3625

母校は切ることの出来ぬ存在

問1　高校3年間の学校生活で印象に残っていること、今、また、一つずつ、これに関連したコメントや思い出を記載いただきます。

（　）内は同窓会入会、問2以降も同様

【公】

・部活（13）

（陸上部）沢山の友人ができ、その友人と今でもつきあいがあることが高校時代の一番の宝です。

（新聞部）戸田先生に厳しくも優しく指導していただき、最優秀賞も受賞することができ、3年間楽しく過ごせました。

（剣道部）体育祭のステージで踊ったり合唱したりしたこと。

（バドミントン部）一学年上の先輩と一緒に作ったバドミントン同好会が、高3のときに男子部がインターハイに出場したことを最に部として昇格したこと。大変なこともあったが楽しかった。

（山岳部）山岳部を設立したこと。

（陸上部）毎日走ったこと。駅伝の全国大会に出場したこと。

（弦楽部）3年の県大会ベスト4で城北高校に負けたこと。楽谷（のちの摩耶）に抜けられたこと。

（バスケットボール部）3年間毎年にバスケットボールが出来た事と友人ができたこと。

（相撲部）県代表で西日本大会に出場したこと。

・学校生活

・授業（2）

個性の強い先生が多く、授業が楽しかった。

コース制になり、体育授業でレクリエーション授業が始まった。

・育英祭（3）自治の発揮に、担任の猪井定義先生に乗っていただいたこと。

・体育祭（2）みんなで協力して示谷丸を造り上げたこと。

・修学（2）達成感もあり、今でも良い経験をしたと思う。

・大学受験（2）厳しかったが、今でも心に残っている。

・進路（1）

・校内弁論大会（1）

・旅（3）今でも心に残っている。

・木造校舎とグラウンドの間を山陰本線が通っていたこと。

【私】

・現在でも交流のある友人ができた。（5）

・育英祭っ盛りの中で、心を寄せ合い、共に頑張り合った仲間との思い出。

・JRで通学中に英単語を覚えたこと。

・高校生劇場（原文、斗争）運動

・勉強しなかったこと（3）

・同窓生とキャンプファイヤーや登山に行ったこと。

・教室に閉じられたこと。

・先生に叱られたこと。

・気がついたらあっという間に終わってしまった。

・図書館の本を読みあさったこと。

問2　あなたにとって、母校とはどんな存在ですか？

・校舎や校名は変わりましたが、切ることのできない存在です。

・充実した時間を過ごすことができなかった後悔の念。

・多くの友人との思い出が作れたかけがえのないもの。

・仕事の繋がりなどで予期外の繋がりを感じさせるもの。

・友だち・兄弟のイメージ

・いつまでも心にあるもの。

・ふと何かのときに「高巨」の言葉を思い出します。ここで得た経験

・友は今でも心の糧になっています。

・心のふるさと（3）

・心の友。

・まさに感にある故郷

・いつまでたっても心のよりどころです。

・人生の基盤になっている。

・現在の私の礎を作ってくれた場所。

・良い友人との巡り会いで、今でも仲良くできて、育英でよかったと心から思います。

・大変うれしい母校です。

・いつまでたっても忘れられない思い出の詰まった場所。

・自分を育てた場所。

・小中高を通ぜ一番心に残っている。

・帰省して学校の横を通るときに懐かしく思う。後輩達は頑張っているか気にしています。

・基盤となり人生の土台になっていることを最近特に感じている。

・青春の思い出（2）

・人生の停車駅のひとつ。

・母校は「由良育英」であり、故郷そのものです。「由良育英」を誇りに思っています。

・人生の1ページ。

・人生の宝であり誇り。

・先生方をはじめ在校生と触れあえるかけがえのない場所。

・小学生がお母さんだとしたら高校はお兄さん。先輩（お兄さん）の後ろ姿を見て成長。

・個性あふれるさまざまな仲間と出会い、読書を通して古今の名作に出会い、人生の大切なものを考えてくれたところ。

・苦しい3年間だった。がそれも今となっては良い3年間。

問3　現在もっとも関心のあることは何ですか？

・健康（2）

（次ページへ）

アンケート特集

（問）
私の青春時代の思い出
私にとって「母校とは」
今関心のあることは

同窓会の各支部・本部総会で質問してみた。（事務局）

うだるような暑さの米子市民球場で、久し振りに母校育英の野球を観戦した。

惜しくも準々決勝で敗退したが、久々の「角盤山」に涙が出そうになった。また、新しい鳥取中央育英の校歌を初めて耳にして、とても きれいなメロディ でずっと口ずさめる歌詞とおもった。新生「育英」への想いを新たにした。

「母校に想う」

温厚過ぎて、今でも育英は
現在進行形である

金田　義司　S47

実は、前回の観戦は45年前、新聞社（部ではない）として浜山球場での取材の時だったと思う。学校を休んでいろいろな所に出かけることができ、役得だったなとついニンマリしてしまう。ちなみに、この時の部活の仲間とは、40年以上年出会って交流を深めている。私にとって還暦を過ぎた今でも、育英は現在進行形である。

由良育英高校を、卒業して46年が過ぎた。

同級生とのコミュニケーション、同窓会との関わりを通じて感じるのは、輪の中にいる人と、輪の外にいる人、輪からずっと離れて遠くにいる人もあるということ。

この輪との関係は、本人の選択ではなく、それぞれの生き方と機会で、いつの間にかポジショニングされる。

同窓会との
関わり、ひと様々

岡門　唐　S48
（環境まちづくりネットワーク会長）

幾々世代の、ライフサイクルを見ると、走り続けた生活も一段落し、ようやくのんびりと暮らす人が増えている。

しかし、どこでどのように暮らそうとも、肝心なのは輪の中に入るきっかけや、それを迎える人がいることだ。

母校があり、同窓会が動いている、これに勝るものはない。

鳥取中央育英高校創立110周年。おめでとうございます。

有限会社 共栄組
KYOUEI
代表取締役　山崎　稔
〒689-2211　東伯郡北栄町亀谷446-1
TEL0858－37－3414

馬野建設株式会社
代表取締役社長　馬野　慎一郎
〒689-2501　東伯郡琴浦町赤碕1840-1　TEL0858－49－2222

（前ページより続く）

・この国の行く末
・少子化問題
・同窓生の結束
・身軽にすること。
・母校がいつまでも続くこと。
「育英」の存続。もちろん、育英高校が残り、そして発展すること。
・校名が変わること。
・少子化に伴う再度の高校再編で母校がどうなるのか。
・全国高校駅伝に出場するかどうか。
・海外旅行
・あまり人気のない鳥取育英を盛り上げてほしい。
・あと何回総会に出席できるか。
・家族の平穏
・スポーツクラブで身体を鍛えること。
・5年10年先を生きるために何が必要か。
・鳥取育英の進学率とスポーツでの活躍
・育英のスポーツ
・仕事、労働環境を良くしたい。
・地域を元気にすること。
・「由良育英」が「鳥取中央育英」になったこと。やっぱりなじみのある「由良育英」がよかった。
・2020年のオリンピック
・家族旅行
・山登り
・MC（マネージメントゲーム）
・命について。
・日中友好の輪を民間交流の場で少しでも推進していきたい。

母校全景（小説「ばんとう」のさし絵）
赤井裕子さん　描く

問4　110周年にあたって、母校の益々の一言記して下さい。

・育英には立派な先輩がたくさんいます。群馬は100年誌に詳しく記載されています。ぜひ目を通していただき先輩を目指してがんばっていただきたいと思います。
・高い目標を持ち、もっと勉学に励んでください。
・学校を好きになり、学生生活を楽しんでほしい。
・在校3年間はとても貴重な時間。何か夢中になれるものに出会ってほしい。

母校の後輩たちへ メッセージ

・在校3年間は、ひとりひとりにとって、必ずかけがえのない3年間ですよ。
・部活・授業で、やりたいことを思いっきり全力で取り組むようにしてください。
・勉強・運動・遊びは一所懸命に。
・何事に対しても一所懸命に。勉強はもとより、部活動・その他の活動など、学生のときしかできないことをたくさん経験してください。
・在校は勉強を一所懸命するところ。それから遊んで友だちを沢山作るところ。（後輩を込めて）
・勉学に遊びに楽しんでください。両方とも言いうらしかできないし楽しめない。
・人生で一番力みなぎる時なので、精一杯がんばってください。
・とにかく勉強してください。今しかありません。
・学校が許せるよう一所懸命勉学に励んでほしい。
・文武両道にはげむこと。
・好きなことをしてがんばること。
・育英の生徒として誇りを持ってください。
・鳥取中央育英を誇りにして、卒業しても活躍してください。
・時代が進んでいく中で、少しずつ校風が変わっているところもあると思いますが、卒業生が育英出身であることを誇れる学校づくりをしていって欲しい。
・母校愛を強く持つこと。
・失敗を恐れず何事にも挑戦してほしい。何もしないで後悔するほど虚しいものはないです。
・友人がいる人は、その人を大切にしてください。
・良い仲間をつくり、何でも話せる友を作ってください。
・自分を大切に！自信を持って！
・前に進んでください。
・生徒より校長先生以下全先生に人気の鳥取育英を目指して欲しい。
・力一杯勉強も遊びも体験しておけ！！
・人生なるようになる。
・正しい目標を達成せよ！

由良育英に体育コースがあるということで、スポーツが得意であった私は迷わず進学先を育英に決めました。当時は木造校舎で、9号線から正門に向かっての桜並木が印象深い趣のある学校でした。自然豊かな環境で先生方も個性豊かな方ばかり、仲間にも恵まれ、学校に行くのが楽しくてしょうがない毎日でした。

一番記憶に残っている事件は、故市橋先生が大掃除中に草刈りをしておられたときマムシに手を噛まれ保健室にいた私と矢戸君（現鳥取中央育英教頭）で止血を行ったことでしょうか。

私にとっての育英、輝ける母校です。

私は現在、体育の教員として教育現場にたずさわっていますが、「将来は体育教師になろう」と考えたのは、当時の先生方（椿・松本・伊東・土井・川崎・横山・高浜・生田先生）から受けた影響が大でした。

私の人生を導いてくれた由良育英であったと思います。

私の人生を導いた

遠藤　明彦　S53

「創立60周年記念式典」は、私の在学中のことだった。

当時は、日本中に吹き荒れた大学紛争の波が、遠く田舎の高校にも及んでいた。生徒会室で、先輩達が議論を交わしていたことは、強く印象に残っている。

運動場を囲む土手の桜並木、正面玄関前の銀杏の黄葉、防雪柵の下を走り抜ける汽車の汽笛、校歌、角盤山…。何年、何十年経とうと、高校生活3年間という時間は、人の一生の中で格別に懐かしく、忘れ難いものだと思う。

あれから50年。母校は創立110周年を迎えるという。

沖縄から、母校に思いを馳せて

「後輩のみなさん。
大きな視野に立ち自分の道を！」

末吉　方子　S45

かつて鳥取と言えば、文化・情報の発信源である中央からは、ずい分と遠かった。そんな私達にとって、自分の世界を拡げてゆくべき"情報"はとても乏しかった。

しかし、時を経て現在、瞬時に世界中の情報を手に入れ、また、世界のどこへでも繋がってゆける。在校生の皆さんは、世界中の若者と同じ次元に立ってこの社会の未来を考え、語り合うことが出来る。広く社会に目を向け、大きな視野に立ち、埋もれることなく、自分の選んだ道を歩んでいってほしいと思います。

南の風に芭蕉の葉は揺れ、空も海も限りなく青い。時折、戦闘機の影が日傘の中を通り過ぎる。

遠く沖縄より、母校のへ思いを馳せて。

鳥取中央育英高校創立110周年。おめでとうございます。

株式会社　高野組
代表取締役社長　高力久美
〒689-2501　東伯郡琴浦町赤碕817-7　TEL0858-55-0921

大平門グループ
大香炉　焼肉 大平門　カッティーナ Cattina グリル＆ピッツァ
有限会社　大平フードシステム
〒682-0007　倉吉市湯谷町27丁目40　TEL0858-26-4422

『ばんとう　山陰初の私立中学をつくった男』を読む

松井 幹雄　S33（前 知識大教授）

待望の書をようやく手にした。

豊田太康の生涯が、素朴な方言で綴られた395頁の大作だ。そして架空の人物が登場し状況を動かすフィクションだと知りながら、まるで古い映画の画面、その移り変わりを観ているような鮮明な臨場感あるストーリーの中にすい込まれていくのを感じながら、一挙に読み切った。

史実に沿いながら繰り広げられる多難な事件、苦悩しながら初志を貫く姿が脳裏に焼き付けられたのである。

「文久4年（1864）の2月はじめ、まだらに雪の残る由良川の土手を、数人の少年たちが河口をめざして駆けている」冒頭の一節である。その日は、完成したばかりの砲台場に大砲が据え付けられることになっていた…。

この本は、豊田太康に関する文献、資料が、2度の火災で焼失しほとんど存在しないという厳しい条件の中で書き上げられた。その ハンディキャップを、松本さんは歴史に即しながら家族の物語として、さらに対話形式でストーリーを構成し、架空、反架空の人物を登場させるなどの工夫で見事に乗り切っている。

つい最近由良の街角ですれちがったかのような豊田太康像が迫ってくる。小説ならではの構想力であり表現力である。松本さんの筆力に感動した。

これまで豊田太康という名前は知っていても、どういう人か、その生涯や人間像について知る手段が限られていた。この『ばんとう』の出版によって、彼の人材教育にかけた生涯と気概、そして「克己」という言葉がたくさんの人々に知れ渡ることになるだろう。

幕末から維新にかけての混乱期。明治新政府の掲げる文明開化と殖産興業政策によって欧米列強に追なる大国に駆け上がる転換期であった。この近代日本の胎動を支えたのが人材の育成であり、明治政府は特別の努力を注いだ。しかし、太康が、「半面開化だ」と嘆いたように、鳥取は人材不足のために近代化の波に乗り切れなかったのである。こうして太康は、地域のために人材育成に自らの生涯をかけることになる。

由良の名家であったが、莫大な費用を要する教育に個人が立ち向かうことは、まさに破天荒の試みであった。太康が私立中学設立の認可を得るまでに約30年の年月を要した。さらに太康自身の人間形成は律学ではなく、幕末期に私塾で学んだ儒教、その倫理と世界観に基づいていた。さまざまな矛盾を抱えながら目標に向けて苦難の道を歩いた彼の一生は、彼が創立した私立「育英」中学校とその校訓「克己」、彼の雅号「晩登」に集約されている。

会員からのメッセージ

シニア真っただ中 今日も職場へ

三好　秀康　S44
（北栄町観光協会 事務局長）

現在、観光に関する仕事と郷土自然会区長の仕事のかたわら、週1回の体育館での運動（スポンジテニス）やトレーニングジムでの運動と、別荘を兼ねた毎日を送っています。

観光は裾野が広く国境がない上に、全国様々情々が訪ちかの観光商品を前面に、正に生き残りを掛けた“おもてなし”を展開しています。北栄町では名探偵コナンの原作者青山剛昌先生の生誕の地として、町あげて「名探偵コナンに会えるまち」の町づくりを展開中です。

「青山剛昌ふるさと館」の入館者は年々増加し、昨年は約11万人のお客様にお出でいただいています。

私の職場であるコナン駅（愛称＝JR由良駅）横の案内所では、約1万9千人（うち外国人観光客は約2割）の方をご案内させていただきました。

やる事は沢山あり、温厚もとっくに過ぎ、正にシニア真っただ中ではありますが、今日も職場に向け出発します。

ある陸上選手と“デッドヒート”

北中　純一　S49
（全豊栄高同窓会長）

「今だから言えるが、その当時は長距離の指導は素人であったため、ある日、横山先生から“大栄中学に行ってホ様先生に指導を受けてもらえ”と言われマンツーマンで指導を受けました。

「県の大会では予選落ち、全国で優勝するには日本一の練習しなければと痛感しました。三度インターハイ千五百決勝、陸上選手と競り合いました。相手はローペースのレースとなり、ラスト200mからのスパートに備えていたら300mからスパート上され、あっという間に引き離され、最後1～2mまで詰めたが追いつけなかった。千五百競争は、優勝を狙って練習してきたので、テープを切った瞬間はヤッタと思いやる世界になった先生方に恩返しができ嬉しかったことを覚えています」。

「晩登」精神で動く

大本　博之　S46
（鳥取支会長）

高校時代は、長距離選手として3年間必死で頑張りました。小学校の教師になり、自分なりに精一杯頑張りました。しかし、45歳頃の時1型糖尿（アイジーエーじんしょう）と診断され、悩みながら闘病を続けました。52歳で人工透析に入り、55歳で退職しました。

今、透析を続けるかたわら、県内1500名の透析患者会の世話をさせていただきながら、第二の人生を楽しんで暮らしています。患者の病態変化・療養会の開催・行政との交渉・全国組織との連携などめげることなく、「晩登」の精神で頑張っています。

高校3年間が私の宝

山本　浩一　S50
（山陰信用金庫支店長）

私は現在地方銀行に勤務、金融サービスを通して、地元の企業のご繁栄、個人の方のより豊かな生活実現のため、微力ではありますが頑張っています。

大学卒業後、平成元年に就職し、県内外を転々、平成27年にようやく地元鳥取に戻ってきました。商売柄、多くの経営者の方とお会いしますが、皆さん地域をこよなく愛し、地域発展のために尽力されています。私自身が少しでもお役に立てることを喜びに、日々仕事に励んでおります。

高校時代、陸上部で早朝から夜遅くまで走り続け、監督、コーチ、家族さん、そして仲間たちに支えられ過ごした3年間が今の私の礎です。母校「鳥取育英」を応援します。

第110年を迎えてとうございます

「満州からの引揚者で家は貧しかったですが、高校だけはという父の思いがあって、本校に入学出来たと思います。素朴で、自由な校風の中で、夢多き青春をのびのび過ごすことが出来たことが私の人生の基礎を作ってくれたと思ってます」

「長く教職教諭でしたが心の居場所を求めて保健室に来ていた生徒たちが、社会人として生きている姿を見ると、仕事を続けて良かったと実感しています。そんな、卒業生との繋がりが、私の心の財産です」

人生の根っこは由良育英だった。

育英で、18年間教諭

山根　靖子　S39

「東京・京都にいる弟たちは支部総会に出席して、母校への熱い思いを持つ人たちと親交を深めています。同窓生があらゆる分野で活躍されていることを聞くにあたり、克己の精神と愛校心は確実に引き継がれていると思っています」。

「地域に根づいた本校教育の役割は十分果たしており、中部地区にはなくてはならない存在です。今後も、次世代の育成のために尽くしてほしいと願っています」

鳥取中央育英高校創立110周年。おめでとうございます。

㈲マルイコポーツ
代表取締役　伊藤　厳一
〒682-0825 倉吉市西仲町2651番地　TEL0858－23－1750

㈱ホテルセントパレス倉吉
代表取締役　名越　宗弘
〒682-0001 倉吉市上井町1丁目9-2
宿　　泊　TEL0858－26－8888
会議・宴会　TEL0858－26－2323

有名な、「江川事件」の悲劇のエース、昭和49年晩秋、阪神と10対10の熱戦に突入、負ければV9消滅の巨人のマウンドに当時無名の小林繁投手が上がる。阪神をピシャリ三者凡退に、巨人から阪神のエースで活躍した、故小林繁投手の思い出を語ってもらった。

小林繁投手　S46　巨人のエース、そして、"江川事件"で阪神のエースへ

正捕手として ボールを投げた

野口　明彦　S46
（球団広報）

冬期強育でオーバーハンドからサイドスローに変えられ、球威が増しコントロールは抜群で、特にシュートが良かった。そして、理者は準備期、夏ベスト4と創部以来最高の成績になったのは小林さんのお陰だと思っています。

1試合3点を取るのがやっとのチームで、小林さんが抑えて勝つパターンでした。

2010年に57歳で急逝されました。ご存命であれば、プロ球界の指導者として活躍されたに違いないと、とても残念です。

ともかく、小林繁さんと一緒にプレーしたことは、いつまでも私の誇りです。

故一塁手作成関村俊史氏

抜群な制球力

2年後輩の選手
岸田　宣明　S46

プロ入りが決まった後、球団に呼ばれ2年ぶりに球を受けました。

その時、構えたミットの所へしかボールが来ないのです。そのコントロールの良さに本当に驚きました。

プロ引退後、小林さんから「プロ野球OB野球教室」を開催するからというわけで、第1回開催地を倉吉市営球場でさせていただいたことも良い出の一つです。

全て自分で考え実行する選手だった

当時の監督
牧野　紀夫　S34

「体はキャシャだったが、瞬発力・持久力もあり、全身バネ。とにかく運動神経抜群だった。一塁上に竹中投手（カープに入団）がオーバーハンドの剛速球。自分で考えてサイドスローにしたようだ。特に私が指導したわけではないのです。全て、自分で考えて行動していた。意志の強い選手だったですね」

東から西から（1）

永田　芳和　S44
（JA鳥取中央理事長）

我々44卒は、団塊の世代と低成長時代です。

団塊の世代のある作家が、「貧しい時代に少年期、日本経済が右肩上がりの時に社会人、下降線をたどり体験している今、人生の仕上げに向かおうとしている。自分の人生と社会・経済の発展がシンクロするケースは世界の歴史を探してもそう多くない」と書いています。

一方、現在の若者は、先行きが不透明な時代に生きています。こうした状況を作ってしまったのは我々世代にも責任の一端があるのではと思ったりもします。

さて、今、不動産価格が上昇しています。核人化・集落化を進めていますが、こうした中で自然を相手に根に付いて働く仕事をしたいという若者が少しずつ増えて来ています。人生は長いようで短い。じっくり考え、自分のしたい仕事を見つけることも大事ではないでしょうか。

一日の中で、一生の中で、働いている時間が一番長いのですから、楽しく仕事をすることが大事です。その仕事が自分事になった時、働くことが楽しくなるのでは。若い人はぜひ仕事を楽しんで成長してほしいと思っています。

「ウオーキング大国」鳥取にしたい。世界へ発信！

岸田　宣明　S46
（NPO法人「未来代表」）

「子どもたちが大人なって、自分たちのふるさとは何もないまち、と言われたくないね」と、18年前、当時のPTA会長仲間と立ち上げました。

「未来」の名称は、こどもは"未来"だからと、「倉吉未来中心」ちなんで命名。

海外のウオーキング事情「大都ウオーキング通信」との交流を04年から開始し、14年目を迎えました。

昨年は、33カ国4500名の、WTC鳥取大会を開催しました。鳥取県を「ウオーキングの聖地」として世界に発信し続けています。

例えば、SOINN未来ウオーク「大山古道トレイル」など様々な大会を通し「ウオーキングリゾートとっとり」を発信し、県内外や海外との交流が広がればと思っています。

多くの過疎を輩出し創立110年を迎えることができたのは農家の賜りである。

新しい時代の育英に期待したいのは伝統の継承と新しい展開である。過疎と引き換えれてきた育英のDNAは「克己」と「挑戦」（金田先生の標語）の二つに尽きる。

「挑戦」は考えなってから登ることであるが、人に遅れて一人高嶺を目指すのであれば、挑戦そうになる強い自分に打ち勝つこと（克己）が必要であろう。無事ゴールできれば大躍進成と言える。

運が味方せぬこともあり、前途多難で軌道修正もやむを得ないかも知れないが、大事なのは自己をコントロールできる強い精神力とその育成である。

後輩に期待すること

三浦　修義（Dてとし）　S44

これこそ現代人に乏しい精神で、育英OBが持ち得る最大の武器であり育英の伝統と言えるのではあるまいか。不屈の精神は創設者金田太郎先生の生涯が示すがごとくである。

国際化・IT時代に相応しい有為（ゆうい）な人材が強く求められている。

その一方で世を挙げて情報過多が日常化している。インターネットなど氾濫する情報の取捨選択が仕事の勝敗を決めると言っても過言ではない。つまらぬ情報に惑わされ自分の目標を見失ってはならない。有用な情報は自分の手と足と心で集めることが肝要である。

目的と手段を混同してはならない。「採物養志」という言葉がある。スマホやゲームなどつまらぬものに夢中になって時間を浪費してはならない。

人生は長いが、集中できる自分の時間は本当に短いのだ。勉強もスポーツでも上達には日々の地道な集中努力が必要なことは論を待たない。

まさに「努力の継続こそが力」なのである。

（編集　母校に風年通信を寄稿、それは、「三浦文庫」というコーナーになっている）

まさに「文武両道」の時代

泉山　昇平　S57
（JA共済鳥取本部長）

昨年10月に発生しました鳥取県中部地震では「JA共済」が大きくお役に立てたことを有難く思います。

昭和54年度高校駅伝・準優勝でした。この大会から全コースTV生中継です。

そして、大学入試改革により即年度に「共通一次試験」が導入され、多数の国公立大学合格者を輩出し、まさに「文武両道」が実践された時代でした。

また、旧校舎と新校舎で学んだ世代で、運動会・遠足の手作りを懐かしく思い出します。母校が更に発展されますことを祈念いたします。

鳥取中央育英高校創立110周年。おめでとうございます。

有限会社　矢積印刷
代表取締役　矢　積　輝　幸
〒682-0881　倉吉市宮川町2-36
TEL0858－22－5312

有限会社
丸正商店
代表取締役
宇田川　隆良
〒689-2501
東伯郡琴浦町赤碕1921
TEL0858－55－0283

米穀
有限会社おき
代表取締役　隠岐　聡美
〒689-2501
東伯郡琴浦町赤碕1144-14
携帯090－3372－5175

赤碕ダイハツ
有限会社
代表取締役
上田　啓悟
〒689-2501
東伯郡琴浦町赤碕1927-1
TEL0858－55－0016

今を走る！

世界で、地元で

倉吉信用金庫の理事長に笠見和則さん（S48卒）が昨年6月就任した。地元金融機関のトップに同窓生が就くのは、前任の谷岡忠雄さん（S35卒）から連続である。

一どんな気持ちで仕事に？

「創業の原点である『相互扶助』の精神を大切に、地域のために貢献するという使命感を意識して仕事に向かっています」

一県中部地域の経済をどう見ていますか。

「少子高齢化による人口減少や若者の県外流出など、アベノミクス『3本の矢』の効果の実感が乏しい企業がほとんどです。買い物・発注は地元商店・地元業者でという『地産地商』の精神が広まれば、中部経済は健康体になると思っています」

一人材育成をどう進めていますか。

「"頑固一徹"。真面目働き続けることが評価につながります。資格試験などで能力を高めることは必要ですが、取引先は数字だけで判断できない場合があります。経営者の人間性や人柄、経営手腕なども加味して考える人材を育てたい」

一どんな高校生だったのでしょうか？

「入学して野球部に入りました。しかし、自分には練習がきつくて、3カ月であえなく退部…。

人間、必死になれば何でも出来る

笠見　和則　S48
（倉吉信用金庫理事長・倉吉商工会議所副会頭）

生徒会活動へ誘われ、会計を担当したが、まさか金融の仕事に就くとは予想もしてませんでした」

一勉強の面は？

「2年が終わる頃、先生から『お前、就職するのか』とハッパをかけられ、それで、"なに誠"と。それから、がむしゃらに勉強し、大学合格を果たしました。人間必死になれば、何でも出来る。やる時にはやる―この気持ちが大事だと知りました」

一S48年卒は、多士済々ですね。

「入学時から、『ただ者ではない』と思わせる人間が沢山いましたね。国公立や有名私立に大勢入り、校長になった者も多いですよ。部活もしっかりやり、受験勉強も集中力を発揮。精神力が強く、人間味あふれる仲間が多かったですよ。互いに刺激し合い、切磋琢磨しました」

一母校への気持ちを聞かせて下さい。

「高校生に戻ることが出来れば、再び入学したいという気持ちです」

（まとめ　佐伯）

会員のメッセージ

ショーン＝コネリーやモハメド＝アリに出会ったり。

笠見　良夫　S44
（ソニーエンターテイメント客員パイロット）

機内で、あのモハメド＝アリ（元世界ヘビー級ボクサー。伝説のチャンプ）と。

親愛なる同窓生、学生のみなさん。私は、1990（平成2）年からアメリカで、主にソニーピクチャーズエンターテインメントの仕事に従事しています。

ニューヨークとロサンゼルスに拠点を置く2つの航空機を操縦して、ソニーが契約している俳優や女優を、カンヌ映画祭やトロント映画祭などへ運んでいます。

2012（平成24）年の「アメイジング・スパイダーマン」の映画初日には、東京から始まって、ソウル、モスクワ、ロンドン、パリ、マドリッド、ローマなどのワールドツアー（映画宣伝）を行いました。

2週間で世界の都市を周り切る、とても厳しい旅でした。

飛行機にはさまざまな人が乗ってきます。みんな気さくに「記念写真を撮ろう」と言ってくれます。

「007」のショーン・コネリー、元世界ヘビー級チャンピオンのモハメド・アリもそうでした。

もともと、日本のソニーで働き始めたのが1980（昭和55）年。その前は、ギニアやケニヤなどいくつかのアフリカの国でJAICA（国際協力事業団）の元で働いたこともあります。お陰で充実した毎日を送っています。

羽ばたけ、若人！
バンザイ、育英110周年！
米国・ロサンゼルス在住
注：原文は英文です。それを翻訳しさせて頂きました

その舞台は、アメリカ・オーストラリア

アメリカの大学に入るには英語で試験？そんなことが分かるはずもなく来た。

アイク池口（池口恵）S44
（「日豪プレス」社主）

2年（1968年）の時に「俺は、アメリカの大学に行くんだ」と決めました。その当時は今のようにネットもないので必要な情報もありません。経済的なことも余り頭になくて、「アメリカに行けば、なんとかなるだろう」と。育英を卒業して1年間アルバイトしてお金を貯め、19歳の時アメリカに行きました。

「行ってみたら、アメリカだから当然英語での試験と初めて気がつき、がっかり！。こりゃいけん！と世界をバックパックで回りました」

日豪プレス（6月号）オーストラリアで発行

「オーストラリアでは鉱山、スイスではパン屋、ニューヨークでは皿洗いなどして、時間の余った時に英語の勉強して、やっとオクラホマの大学に入れました。人生で一番嬉しかった、21歳の時です」。

「それから紆余曲折いろいろあり、30年前にオーストラリアに移住しました。10年前にそのあと旅行会社を起業。今はシドニーで日本語新聞『日豪プレス』という会社をやっています。今年のことですが、外務大臣表彰も頂きました」

後輩諸君へ
大きな夢を持って行動に移そう！
若者に夢を、高齢者に希望を！

（豪・シドニー在住）

英国中央銀と出会い、2ショット

鳥取中央育英高校創立110周年。おめでとうございます。

有限会社
永田商事
〒689-2201
東伯郡北栄町西園316-1

スイコー
株式会社
代表取締役社長
増田　純吾
〒682-0831
倉吉市宮川町159-4
TEL0858－22－8255

株式会社　光コンサルタント
代表取締役　澤　田　光　康
〒689-2501　東伯郡琴浦町赤碕2540番地12　TEL0858－55－1889

年輪年代は今

年輪と共に38年

奈良文化財研究所
埋蔵文化財センター　光谷　拓実

「年輪年代」、それは自然が作り出した時間軸の秩序立なりで、いくら早ても遅きることはない。年輪に縛せられ、すっかりその虜みとはまって、早くも38年になる。

奈良文化財研究所で、「年輪年代学」の研究を試行したのは1980年のことであった。当時、わが国での実用化はきわめて困難であるといわれていたが、約8年後、ついに、ヒノキ年輪を使った年代の物差しとなるものを約二千年間分完成させ、実用化の道を切り開くことに成功できた。

それ以来、わが国の歴史学研究に活用し、「法隆寺の再建・非再建」論争に一石を投じたほか、鳥取県下においては、国宝三仏寺投入堂や青谷上寺遺跡の年代解明に貢献できた。また、弥生時代や古墳時代の従来の年代観に対し、年代が百年以上遡ることも明らかに出来た。

その後、薬師寺の2体の国宝仏像、奈良県　法隆寺を始める機会に恵まれ、2体の古墳に木曽産ヒノキが使・床板・天井板などに使われていることを明らかにした。

これにより過去におけるヒノキ・スギの「木材流通史」の解元研究が可能であることが分かり、以後、各地の古墳について使用木材の産地解明に向けて全国を駆け巡っている。

これまでのところ、木曽産ヒノキを使った古墳は近畿一円はもちろんのこと、北は宮城県国宝大崎八幡宮や福島県寺本城、西は広島県広島県郡宮などにも流通し、使われていることを明らかにした。引き続きこの調査は全国各地に広げたいと考えている。

また、近年は、中国の考古学研究者と連携し、中国最古の遺跡出土木材を使って年代を割り出す基準パターン作成に取り組んでいる。いずれ、中国からも年輪年代学による研究成果が発表されるようになるであろう。

当分のあいだ、古年輪との付き合いは終わりそうにない。

「年輪年代測定法」の日本の第一人者。（只今、測定中）

東から西から（2）

人物風土記（1）

昭和34卒の巻

活躍する同窓生を学年でまとめたしりーずです。リレー式に連載する予定。（M・T）

岡崎　組（NPO「味人未来」理事）

Uターンして6年、長年、「リタイアル」で培った経験と人脈を生かしながら、倉吉の誇い和菓子たちの応援・サポートに奔走。

「最後に戻りたくても仕事がない」という若者の声が多いのに驚いたのが、その動機とか。「地を求めると共に『青英』を起点に戻るようになって来て不思議な縁。既は、豊田太郎が校祖の高等、その意味をもっと解く考えて　毎日の校風に磨きを掛けて欲しいですね」

佐藤　紀夫（倉吉市西厚地区公民館長・行年）

「教員生活の時は、ジジのことに多く関わらなくて、その『罪滅ぼし』をです。」と話す。

現在30～30人のメンバーが毎週行動する「子ども見守り隊」のまとめ役。全国公民館連合会から活動が表彰された。注目されたのは、防犯に熱いまちづくり提案「高校中部地区」では、見事な対応になった。

恒見　修子（倉吉市人権教育研究会理事長・前いき地域自立支援・人権問題など）で多忙な日々。

「人権問題から学ぶ旅を沖縄から北海道まで現在も続けています。人権問題が他人事として共感が得られにくいことが問題です。青英の場　同窓が集まる時に教育に関の花が舞ったり、祭りの意義が授業中に教室を回ったことを楽しい思出されます。自治会の中、高校に学ぶ意味、生徒の本づくりを生徒も意識も大切にしてほしい」

中嶋　正（地球の歌のグループ「ふるさとを歌う会」のまとめ役・指導者）

「会員は30人程ど、ほとんどが高齢者、来歴を語める人は少ないので、指導も難しいが、歌う者は介護予防にもつながると、楽しん貰えるのがうれしい」

「青英は、先生・友達との出会いやその校風で自分を育ててくれた所です。大山乳業組合長の時、大企業のトップと付き合ったりしましたが、大学出でなくとも引け目を感じたことはなく、青英で学んだことが私の基盤にあるのだと思う」

柳本　紀雄（上小鴨地区学校再編対策協議会会長、市と、関係者の地元住民との間で支援調整）

「前回別表から6年、市と地区のせめぎあいが続いています。活動を通して地区の良さを再認識　毎日元気づけられますが、住民の意識の風化と地域間で活動を長寿が大きな負担です」

小嶋「ぼんとうに」で、毎校の歴史を振り返ったり、これを機に、部活の成績やOBの活躍など生徒事業資料の作成などどうでしょうか？」

福光　巧（NPO法人「まちづくりネット」理事、「行政相談員（倉吉市）」の最長老）

「大学生活等まちづくり研究会設立し、地域の皆さん活動しています。行政相談活動は21年目です。行政相談は色々ですが、解決した時はとてもやりがいを感じます」

「鳥取大、時間の長は与者でした。青英は人材育成の大切な場所です。勉強や部活に励み、多くの友とのいい思い出を作って欲しい。母校がこの地で永遠に繁栄をすることを祈っています」

鳥岡　紀代（自学士高等の一角で「久和出店10年」）

「外国のお客さんには、ガイド案内で来館で案内したりします。話し始めると皆まちなくなって！。お客さんとの場で米国の夫妻と知り合い、3度来ましたし、また、朝鮮系ランティアや「高齢社会をよくする会くらよし」ではケアハウス等で朝鮮や板等活動をしています」

山本　紀雄（浄土寺門　善仏尼寺主　仏師）

自学士高等の一角に座を構え、仏像制作にいそしむ。

倉吉を「福の神の町に」と言う。つとに全国的に知られる。

今年は、NHK「心の旅」に登場。全国放映された。

「善仏庵」で制作中

10周年記念号の第1面

「同窓会報」この10年の歩み

10周年から110周年へ。本会報はその間、14回の発行を数えた。その流れを概観した。

同窓会報No.31（平成19年）から、最新号のNo.41（平成29年）まで、順次目を通してみた。

一読して、どの号にも、同窓生たちの母校へ寄せる愛と母校の生徒たちの活動状況の克明な報告がある。内容的にも、大変充実していると感じた。

私は、全国的な規模での同窓会を見る機会は持っていないが、母校の同窓会は、質、量ともにかなりの高水準にあると感じた。

この会報の特色の大きな一つは、毎号の1面最字下に、創立者豊田太郎氏の遺訓「克己」の内容を掲示し、「青英」の建学の精神を絶えず鼓舞していることである。

それと、No.38（平成25年）頃より、各支部の組織の強化が図られ、支部の活動が活性化し、各支部の情報がより多く紙面に反映されている。

これらの組織の強化は、同窓会の活動に直結して、No.41、No.42、No.43、No.44では、同窓会の盛会ぶりを報告する紙面も充実し

可能な限りの情報
同窓会活動を支えるツール

て、変化に富んだレイアウト・多彩な写真（カラー写真を多用）・現役の高校生たちの豊富な活動の紹介など、どこを見ても第一級の同窓会報になっているとも感じた。

ちなみに最新号のNo.44（12頁）の紹介をすると、1面には、「『青英塾』から110年」と題した同窓会長佐伯健二氏の巻頭言を掲載、2～6面には、各支部の活動状況を掲載し、8面以降は、創立周年記念式典に関わる記事、現役高校生の活動状況を克明に報告している。

この頃の号の特色の一つに、高校再編を念頭に置いた記事が多く、「いまこそ、青英"再生"のとき」「これからの高校教育は…。青英110年と中部の未来」「これからの中部の高校教育は。そして青英」など母校のあるべき姿を求めた記事が目につく。

あと、母校の同窓会の特色の一つに編集スタッフの充実が挙げられる。時によっては、担当学年の現事を決め、彼らが編集委員となって取材などに主体的に参画している。

そして、編集担当のメンバーの一員に、長年高校新聞の指導者であった戸田さん（S34卒）がいるのも、この会報の強みではないだろうか。

熱気あふれる同窓会活動とこれらの充実した「同窓会報」は、まぎれもなく相乗効果を生み出し、母校の発展に大いに寄与していると確信する。　（S31　岸本　記）

鳥取中央育英高校創立110周年。おめでとうございます。

内科・外科・胃腸科　岡本医院
〒689-2221　東伯郡北栄町由良宿552-2　TEL0858－37－2072

ふくい内科クリニック
院長
福井　甫
〒683-0004
米子市上福原2-17-20
TEL0859－30－3999

ビーワイヨシダ
代表取締役
吉田　尚史
〒682-0806
倉吉市昭和町1-107
TEL0858－23－1611

（60周年記念奨学生）

「支えて下さって感謝です」

鈴木香苗子　H15（山口大　勝いない）

コミュニケーションを取るのが苦手でクラスになじめず過ごした1年生の記憶が全く残ります。その分勉強に打ち込めたことや、新聞部で全国一位の活動に参加できたことが評価され奨学生になったと思います。

大学ではボランティア活動や地域の合唱団に参加するなど、幅広い世代の方々と交流しました。奨学金はこれらの活動費、中でも合唱団の一員としてスペインに行き貴重な経験が出来たことは感謝の一言です。

大学生活では、人と繋がって生きることの喜び、支えられて生きていることのありがたさを知りました。

「克己」の精神を持ち、勇気を出して様々な活動に参加して学び合ったものです。就職は地元に貢献し人と関わる仕事がしたいと思い、「いない」勤務です。お客さんに喜んで頂けるように毎日頑張っています。

創立60周年記念事業の柱は、今でいう給付型の「奨学金制度」だった。大学奨学生2人に思いを語ってもらった。

（創立50周年記念奨学生）

「奨学金を給付されて、とにかく頑張ろうと決意」

井中　和海　H8（鳥大法文部　鳥取県庁）

「人のためになる仕事、困っている人を助ける仕事です。やり甲斐を感じています。

この職業でしかできない事があるので、頑張っています」

「私は、母子家庭だったので、とても、安心したのを覚えています。改めて、大学で勉強しようと決意したと記憶しています」

「今改めて考えると、給付型だったので後の負担が少なくなり、現在の、幸せな家庭を持つことにつながっていると思います。その意味でも育英奨学金は真の教育支援だったと思っています」

「地域に貢献する人材として期待して頂いたのかと思います。公務員として、鳥取県のために働いていることで少しでも恩返しができればと思います」

「最後に、井田先生の理念に恥じる事がないよう生活する事を心がけています。校前「克己」は、仕事の原点と思い出しています」

「育英とは…、青春そのものです。そして、人生の基礎を作った時期でもありました」

「奨学金生活が原点です」

今は、鳥取農業高で今年6年目、特別選学クラスの担任・地歴公民科の主任・陸上競技部の顧

育英生活が原点です

私自身も少しは成長出来たかのかなと感じます。

そうした経験を活かし、東京のフリースクールで3年間勤務した後、鳥取に戻り教員に就きました。

早いもので、教員生活も今年で8年目。最初の赴任校である米子高校では、教材研究と進路指導に追われる慌ただしい1年を必死で乗り越え、2校目の倉吉西中では、試行錯誤を繰り返しながら、元気すぎる生徒たちと全力でぶつかり合う姿勢を学びました。

今は、鳥取農業高で今年6年目、特別選学クラスの担任・地歴公民科の主任・陸上競技部の顧問などを務めています。

見えは、いま私が教員として目の前の生徒たちのために行っていることは、全て高校時代に私自身が生徒として顧問から受けた指導がその原点となっています。

いつまで経っても自分は原点であり、つねづね自分自身の未熟さを痛感する毎日ですが、そんな時ふと脳裏に浮かぶのは、苦しくも充実していた育英での思い出です。

今後も、校前である「克己」の精神と、恩師への感謝と敬意を忘れることなく、一歩一歩進んでいきたいと思います

陸上部その思い出

青　幸子

入学の頃、体育館の前で「話だけでも聞いていけ！」と声がするので、聞くだけならと私を含む多くの生徒がゴキブリゾロゾロ状態で引き寄せられ、気がついたら2時間後にはみんな陸上部員になっていた。

私は初心者、「中・長距離なんて死んじゃうし」と、やりたいことが見つからない。迷った末、私は棒投げを選んだ。

明日が新入部という日…。

棒投げの女子で私以外は「合格！」で、帰宅。グラウンドには私だけとり、顧問の山崎先生は車のライトを照らし、「もう一回！」の繰り返し。最後は明るく「よしーご苦労さん。気をつけて帰れ」だった。

新入部で2位。全国大会でも2位。どの大会も決勝に残るのは当たり前だった。

この時代の「体づくりと精神力の鍛錬」がその後の私の人生を支えている。

私の決意を決めた言葉

子　東丈（高科医師になると決意したのは、高2の夏だった。"辛くなったら行く"。高科から辛くさせない高科医師を実現させるため、その勉強と必要な技術と人間性を磨いてきたつもりだが、"辛くなったら行く"という固定観念を打ち崩すことは、非常に難しい。

そんな中、常に支えてくれたのは「克己」の二文字。

「俺がやらなきゃ誰がやる」の精神でひたすら前を向き、五年の歳月をかけ、今年5月倉吉市福庭に開業させて頂いた。自分を成長させてくれた地元に少しでも恩返しできたらと思う。

親子2代　友達物語

岸田　幸子（S47）
東丈（H11）

「育英育英会」のサポート　奨学金と「育英塾」

「音に聞こえた旧家」（「鳥取県百物伝」）の豊田家は、その全財力を人材育成に捧げた。

東京江古田にあった「暁登塾」のこと

□柚袋から、西武柚袋線3つ目の駅が江古田。近くに日大芸術学部があった。駅心の1等地で200坪は優にあった。そこが、家賃「0円」の暁登育英会運営の木造2階建ての家だった。

□大学に行きたいが、カネがない。昼間働き自力で夜間大学へ。そんな育英卒業生が常時10～15人頑張っていた。"絵に描いたような"私財擲って"の運営。

学生の勤めは電電公社・現東京メトロ・家政が主力。

「暁登塾」の玄関

夜勤をこなし、昼間の大学を卒業した頑張り屋がいっぱいでもあった。5、6年かかって大学を出た。

□江古田の人によると「不思議な家だ」と思っていたらしい。"懐かしい育英ワールド"は希有な学生家だった。

（元塾生T記）

鳥取中央育英高校創立110周年。おめでとうございます。

株式会社
北和

有限会社
朝倉書店
〒689-2221
東伯郡北栄町由良宿557
TEL0858－37－2025

有限会社　サンキョー
〒689-2221　東伯郡北栄町由良宿1370-1　TEL0858－37－5182

【資料1】

社会で歌われた「校歌制定の謎」

（講師）佐々木瑞枝さん

1963年（S38）4月、大学卒業と同時に赴任。79年まで、16年間由良育英高で音楽担当。定年退職後、2度育英に関わられた。

育英は私にとって大学での学びに続く、教員経験のスタートを育てていただいた大切な"母校"であると思っています。

育英と言う場を通して出会った多くの方々との関わりの中で学んだことは多く、心よせる事柄も思い出も尽きありません。

本日は、その中から現在「鳥取中央育英」の応援歌として歌い継がれている、～波浮乱の櫻花～のミステリーに触れたいと思います。

波浮乱の　櫻花

と、事あるごとに歌ってこられた歌は、作詞百田宗治、作曲八木伝、昭和29年11月9日制定と記されていますが、いくつかのミステリーの存在がありました。

百田宗治は「民衆詩」の詩人と言われ、また「生活綴り方教育」運動の推進者として知られています。

どこかで誰か生まれてる
どこかで水が流れ出す

の歌でよく知られています。大阪市出身、生涯の前半生の大部分を大阪で送っており、戦中戦後の生活困窮の時期には北海道で疎開生活を送っています。

さてインターネットで「百田宗治と校歌のこと」という本の発刊を知りました。著者佐藤将寛氏は、北海道の小学校長在職中の、百田宗治の研究者でありました。

その本によると、百田宗治は35校の校歌を作詞しているようですが、うち17が北海道の小中高校のものでした。

作曲者八木伝（つたえ）は、私は全く知らないので国会図書館の記事などを経由して、やっとその足跡の一端を知ることが出来ました。

彼は、戦時時局になっていた

「由良育英校歌のルーツ」

のです。「陸軍戸山学校」で音楽を学び日本大学芸術科を卒業しています。戦時中は財団法人「新京音楽団」の嘱託作曲家として旧満州に渡り放送や映画音楽の仕事に従事していました。

満州で終戦を迎えます。昭和24年に帰国、その後放送やレコード関係の仕事、自衛隊音楽隊の編曲の仕事などにも携わっていたようです。

キーマンは八木伝と花女出身か？

キーフードは満州と花女出身か？

八木伝と花女出身の人物です。

八木伝は百田宗治の日記によって、突如登場した人物です。由良育英の校歌作詞に関する依頼を百田宗治に仲介したとされる人物です。

彼は、一体何者なのでしょうか？

秋田県生まれ。秋田の師範から旅順師範部。そして大連の小学校などの勤務として「生活綴り方教育」・作文教育の実践と研究を続け、戦後は作文教育の推進・光村図書出版の編集者・全日本国語教育学会の理事長などを勤め詩集の出版もある詩人でした。ここに至って

私には謎の一つであった「育英校歌」制定と、作詞者百田宗治・作曲者八木伝をつなぐ糸が見えて来たような気がします。

「生活綴り方教育」「作文教育」の推進者であった八木伝と百田宗治を繋ぐ糸。次にともに戦時中の満州体験を持つ八木伝さんと八木伝をつなぐ糸。

3番目は全国的にも「作文教育」が盛んであった鳥取県西・中部の教育界と、「作文教育」の推進者、教科書編集者として全国を通っていた八木伝さんをつなぐ糸。八木伝さんによって繋がる3本の糸が校歌作成をつなぐ重要なラインだったのではないか。

作詞者作曲者

実証していないのに証明済？

皆さんは今までの話に沸騰とんでもないミステリーにお気づきでしょうか？

それは、校歌の作詞作曲と校歌制定の時系の矛盾です

佐藤将寛氏の著書にあった百田宗治の日記と由良育英の校歌制定に関する重要な三つの日付を時系で並べて行くと、

9日　校歌制定
21日　八木伝氏から百田宗治に歌詞依頼
29日　宗治が歌詞をまとめ八木伝氏に送る

この3つの時系です

つまり　作詞も作曲も出来上がっていないのに校歌は制定され制定されていたという荷沙汰事になってしまうのです。

事実がこの通りであったとするとそこには何か重大な事情、大きなミステリーが存在しているに違いないと思われます。

この事は校歌が公募によって選定されたというオリジナルの歌詞や作者が現在全く不明である事などと何か関係があるのかも知れません。

この辺については

の考察は

また後日　あるいは皆さんへの宿題という事にして…

「校歌よ永遠なれ！」

（文責　巻）

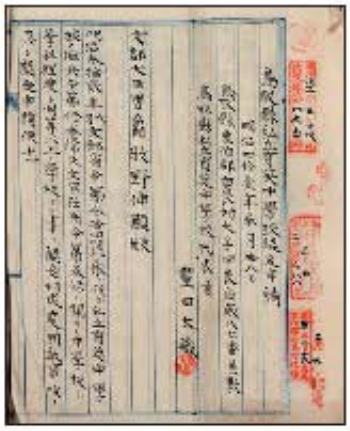
旧由良育英校歌

（鳥取中央育英高校前身）

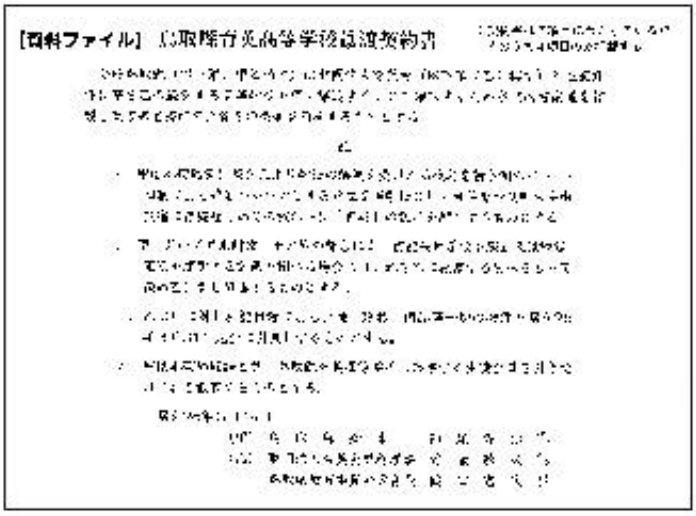
百田宗治作詞・八木伝作曲

波浮乱の　さくら花
　　麓が丘に　草萌きて
　　かたみに結ぶ　友情の
　　熱き血潮に　たぎりたつ
　　進取の気風　自主の誇
　　われらが光　由良育英

資料2　「原点はここにある」
山陰初の私立中学を
設立するという熱意書



資料3　「歴史を語る」
私立鳥取県育英高校から
鳥取県立由良育英高校へ移管



【資料ファイル】　鳥取隣育英高等学校設置契約書

鳥取中央育英高校創立110周年。おめでとうございます。

コナンの里　倉吉自動車学校
〒689-2201　東伯郡北栄町西園866　TEL0858－37－3531

株式会社　衣笠商会
代表取締役
衣笠　一彦
〒682-0035
倉吉市広栄町941-5
TEL0858－22－4126

株式会社
真木自動車
代表取締役
真木　正規

同窓会役員

三宅明子	会長	由良S44
倉田中	会長	由良S40
岡井貴	会長	由良S38
岡下代	会長	由良S39
岡山	会長	由良S41
文部東	会長	由良S39
原田平	会長	由良S44
原田山	会長	由良S40
原田剛	会長	由良S38
熊本事	会長	由良H10
熊本本	会長	由良S34
熊本千	会長	由良S44
熊本奉	会長	由良H5
熊本明	会長	由良S49
熊本明	会長	由良S49
熊本明	会長	由良S47
熊本明	会長	由良S44
熊本明	会長	由良S41
熊本明	会長	由良S38
熊本明	会長	由良S34
熊本明	会長	由良S32
熊本明	会長	由良S44
熊本明	会長	由良S44
会長代行	会長	由良S38
会長	本部	由良S39

お知らせとお願い

□110周年事業特別寄付金
（10月7日現在　7,260,000円）

□2016年度夏の補会
8月11日（土）16：00～
倉吉シティホテル

□情報の連絡を。
poアド：ikusi-h@mail.torikyo.ed.jp

幹事	同窓会事務局	由良S38
〃	〃	由良S42
〃	〃	由良S49
〃	〃	由良S44
〃	〃	由良S40
〃	〃	由良S38
事務	事務	由良S38
事務	事務	由良S44
事務	事務	由良S49
事務	事務	由良S44
事務	事務	由良S40
事務	事務	由良S38